

# からぼり川

がたろう通信

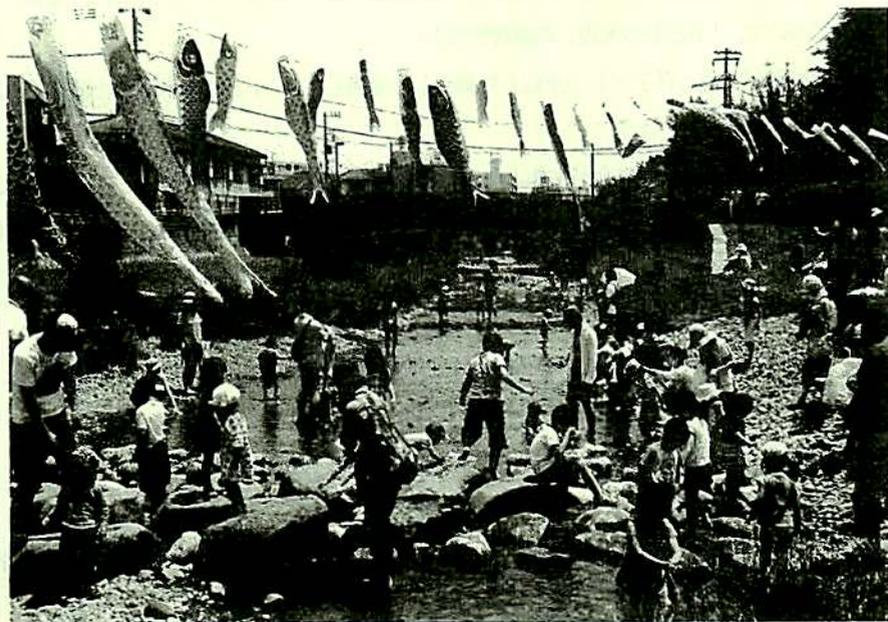
第71号

2012年6月9日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

発行責任者:友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10



## 第14回空堀川・川まつり開催

5月27日、朝から真夏のような陽射しの照りつける中、恒例の川まつりが行われました。会場には鯉のぼりが翻り、幼児から高齢者まで、たくさんの人たちが、カヌー遊び、カモレース、金魚すくい、フリーマーケット他、様々な工夫をこらした模擬店などを楽しみました。

## 平成 24 年度 事業 計画

安岡 建依

第 13 回定期総会が 5 月 12 日（土）午前 9 時から中央公民館で開催されました。正会員総数 36 名中、出席者 14 名、委任状提出者 15 名で、正会員の 2 分の 1 以上の議決により平成 24 年度の事業計画が以下のように決まりました。

### I. 実践活動

- ・「子どもの水辺」の維持管理：東京都北多摩北部建設事務所と取り交わした「覚書」に基づいて、「子どもの水辺」の維持管理を行います。
- ・環境学習支援：『「子どもの水辺」協議会』と連携して、「子どもの水辺」を活用した環境学習支援を行います。
- ・川まつりへの参加：当会が主体となって取り組み、5 月 27 日（日）に実施されました。
- ・クリーンアップ作戦：春期は 4 月 28 日（土）に実施済み。秋期は 11 月に予定しています。
- ・水質・水量調査：「世界環境デー」の「身近な川の一齐調査」に参加します。
- ・空堀川の環境整備：JR 武蔵野線の湧水を活用した「御成橋周辺の環境整備計画」を、「柳瀬川・空堀川流域連絡会」と連携し進めていく予定です。
- ・「内野吉之助みどりの基金」事業：空堀川流域の緑化を行います。

### II. 調査活動

- ・「子どもの水辺」区間の生態調査：水質、昆虫、鳥類、水棲生物、植生などの調査を行います。

### III. 普及啓発活動

- ・会報の発行：会の活動報告を中心に 1 年間に 4 回発行し、会員および公共施設への配布を行います。
- ・会員の拡充：ポスター、ポストカード、DVD などを用いて会員の拡充に努めます。
- ・ホームページの充実：内容の迅速な更新と充実に努めます。

- ### IV. 収益事業：東村山市環境部との 2 件の契約を履行します。

## 御成橋周辺整備計画

## —ワンドができる—

小林寛治

懸案だった御成橋左岸のJR湧水を活用した「ワンド(ビオトープ)」が、ようやく試験施工という形で合意が得られました。施行は6月27、28、29の3日間の予定です。見に来て手伝ってください。歓迎します。

空堀川にかつて頻発した洪水については、河川改修により、川幅、河床、護岸等に対策が施されました。今後は上流部の改修と併せて、時間当たり50mm対応の川底の掘り下げが予定に上っています。

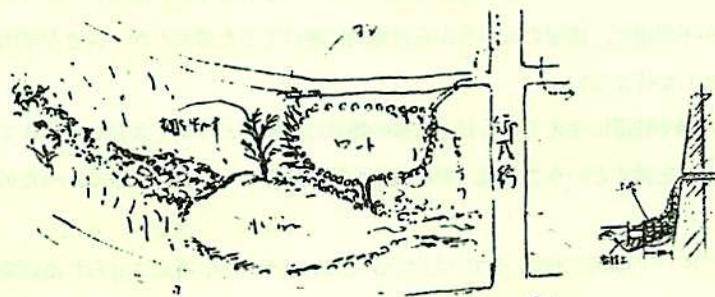
空堀川にとって現在最も重要なことは、適正な流量の確保と生態系の保全です。御成橋周辺の整備目的はJR湧水を活用したワンド造りです。先に公開された市民案からは後退した感がありますが、河床掘削に影響を与えず、当初の目的を達成するものです。

年次計画が示されていますので、追い追い整備されます。

ワンドづくりの骨格は次のようなものです。

1. ワンドの大きさはタタミ四畳半より少し大きいものになります。
2. ワンドの底、法面は粘性のある土を用いて透水を防ぎます。  
(上流部の河川工事が出る関東ロームを使います。)
3. 水路・池底には川にある石、砂利を使います。
4. ワンド周囲にはネコヤナギ、ヨシ等の植栽を行い、ヘドロの侵入を防ぎます。
5. 湧水の排水口には土嚢を積んでワンドまで傾斜をつけます。

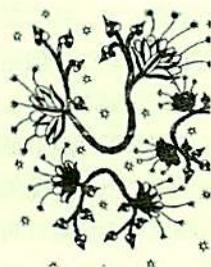
下手なイメージ図です



## 草刈り

安岡雅永

私たちは年に3回草刈りをしています。東村山市から委託された、空堀川沿いの下堀広苑とふれあい広苑の草刈りです。草刈りについては、会のなかでも疑問の声があります。「緑化しようとしている私たちが何故草刈りをしなければならないのか」などです。しかし、逡巡しながらも、野草を想いながら刈れるのは私たちだからこそなのではないかと考えていたところ、素敵な文章に出会いました。ここでご紹介したいと思います。星野富弘著「種まきもせず」の一文です。



### 雑草

家のそばの貯水池の土手には、さまざまな草が生えている。クサボケ、オミナエシ、ツリガネソウ、ワレモコウなど、他のところではいつの間にか姿を消してしまった草も、ここでは毎年花を咲かせる。しかし、この池は、年に何回か草刈りをする決まりがあるらしく、草が伸びてくると、何軒かの農家の人が集まって、きれいに刈ってしまう。ツリガネソウなど、やっと花をつけたかと思うと刈られてしまい、がっかりすることもあるが、切られた草は、ちょうど剪定をした植木のように、すぐに逞しい芽を伸ばして花をつける。

他の土手を見ると勢力の強い外来植物や篠がびっしりと繁っている。人の手の入らないところでは姿を消してしまった万葉集に出てくるような草が、なぜここだけに残っているのか不思議だ。農家の人が昔から定期的に続けてきた草刈りが、大きな要因になっているとしか思えない。

田畑の隅や畦道に生えている日本古来の雑草は、農業とうまく共存して生きてきたらしい。田畑を耕すということは、単に穀物や野菜を作ることだけではなかったのだ。

草刈りに関するの満点の回答とはいえないかも知れませんが、考えさせられる言葉だと思います。

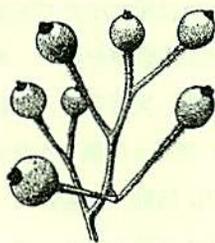
## 空堀川の草木 42 ノイバラ (ノバラ) バラ科

有川 栄子

野原や川岸，林縁に自生する落葉低木。鋭い棘（トゲ）だらけの枝を四方八方に広げて，高さ約 2m の茂みを作る。葉は互生，奇数羽状複葉で，小葉は 1~4 対，羽軸にも棘が多い。初夏，枝先に円錐花序を出し，良い香りのする白い 5 弁花を咲かせ，虫たちを引きつける。果実のように見える偽果は径 6~9mm の球形で秋に赤く熟す。ノイバラはとても丈夫で繁殖力があるので，大輪のバラなどの台木にも使われている。

空堀川の下堀橋（青葉町）上流の右岸にノイバラのブッシュがあり，今年も 5 月上旬から白いたくさんの花を咲かせ芳香を放っている。真夏になると，カナムグラやヤブガラシなどの蔓草に覆われてしまう。その近くに，少し遅れて，淡いピンクのノイバラも咲く。

ゲーテの詩にシューベルトが作曲した「野ばら」は，植物学者・湯浅浩史氏によれば，ヨーロッパのピンクの野ばらとのこと。空堀川のノイバラは，「野ばら」をドイツ語で歌った遠い日の記憶を甦らせてくれる。



偽果（直径 1cm に満たない）



このシリーズは今回で終了します。

## 第 14 回空堀川・川まつり開催

垂水荘司

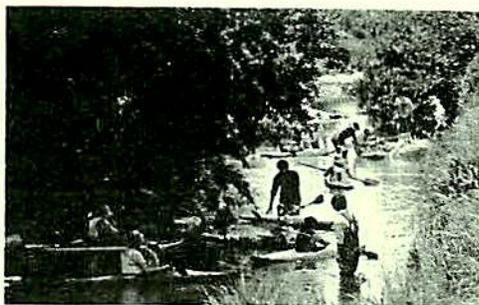
5 月の第 4 日曜日 27 日に、爽やかな五月晴れの下で今年も盛大に川まつりがおこなわれた。約 80 匹の鯉のぼりが風を身体一杯にはらんで会場のムードを高め、川で遊ぶ子供たちを歓待していた。昨年は東日本大震災のため、9 月 11 日の開催となったが、自粛感も解けた今年は例年通りに開催された。

川まつりの主旨は「町おこし」。さらに、市民まつりの一環として、空堀川を舞台に市民が川に親しみ、河川環境についての関心を高める事でもある。10 時に当会理事長・友保「川まつり」実行委員長の開会宣言を皮切りに、3 名の来賓の挨拶で川まつりがスタート。まつりの参加者は約 3000 人。フリーマーケット 68 店、模擬店 10 店、イベントは南米音楽、和太鼓、沖繩のちゅらさん（バンド名）、恩多稲荷囃子、カヌー教室、カモレース等で例年以上に盛り上がった。特にカヌー教室では 220 名の参加者があり、160 名がカヌーを体験した。昨年からはじめたカヌー教室は、近場でカヌーが体験できること、係員の指導でうまく操れるようになることで子供たちに人気があり、その達成感は次回からの企画を後押ししてくれるだろう。カヌーのために堰きとめた水を利用したカモレースは、多くの子どもたちを湧かせたイベントだった。

例年の如く、川まつりの開催には実行委員たちの多大な協力があった。第 1 回実行委員会は 4 月 24 日に始まり、5 月 21 日まで計 3 回。市役所北庁舎で午後 7 時から 9 時まで開催された。第 12 回以降、川まつりは当会が主幹事を務め、事務局は東京都北多摩北部建設事務所、東村山市都市環境部道路課、実行委員、地域 4 団体の計 7 団体が運営。第 1 回の実行委員会では川まつりの開催と開催日を決定、イベント内容、フリーマーケット出店数、模擬店の内容、PR 活動、会場設営（市の備品関係も）が協議された。PR 活動では特に、市報 5 月 1 日号でフリーマーケット募集、5 月 15 号で「『第 14 回空堀川・川まつり』一川と地域の町おこし、みんなで川を楽しもう」のタイトルで呼びかけがなされた。その他ポスター 1000 枚、立て看板 10 枚。チラシ 5000 枚は、各新聞店の無料折込み（東京新聞 1000 枚、朝日新聞 3200 枚、毎日新聞 700 枚）、と実行委員の配布（100 枚）で処理。役割分担は、イベント対応、会場整備、交通対策、消防署・警察署への対応、ゴミ対策

に分かれ行った。

会場整備は、北北建が1週間前の草刈り、前日の土嚢設置、玉石設置、階段ステップづくり、当会が鯉のぼり掲揚、立て看板の作成、設置を行った。まつり当日は、東村山市役所がテント張



り、備品(机、椅子)の搬入、設置、撤去を担当し、出店者にも協力してもらった。最後に、1日の膨大なゴミを6種類に分別、各出店者のゴミと一括処理をした。

1日を通して穏やかな天候に恵まれ、会場の準備作業、イベントのスケジュールも予定どおり進行し、事故もなく、参加者の期待に応えた「まつり」であったと思う。



### 春の空堀川クリーンアップ終了

当会による空堀川の清掃は4月28日で30回目となりました。毎回多くの助っ人を派遣して下さる森永乳業(株)の要望を入れて、東大和市との同日開催となってから2年目。今回森永乳業からは、3ヶ所に25名ずつ、合計75名の方が参加してくださいました。一般市民の中には、チラシをみた母親に勧められて参加したという小学生の姉弟や、幼児を連れたい若い父親の姿もありました。

15年以上ひたすら拾うだけで、捨てさせないための名案が見つからないことに徒労感を覚えました。ところで、「世界価値観調査」によると、脱税、収賄、ゴミの不法投棄などが正当化されるか否かでOECD諸国の国民の公共心の高さを計った場合、ギリシャ・イタリア・スペインの南欧諸国において低く、北欧諸国・オランダにおいて高く、アングロサクソン諸国と日本はその中間となるとのこと。さらに、南欧的か北欧的かは文化によるのではなく社会的・制度的環境による由<sup>[注]</sup>。そうであるならば、日本が北欧化するような社会的・制度的環境を整えることができれば、空堀川のゴミが少なくなるのでしょうか。(文責：正路妙子)

注：鶴光太郎著「日本は南欧化するのか？」(日本経済新聞12/5/21に紹介)。

これまでの経過と今後の予定  
(2012/03/11~2012/06/09)

- ◎04/14 (土) 第 167 回定例会  
 ◎04/24 (火) 川まつり実行委員会  
 ◎04/28 (土) 第 30 回クリーンアップ、  
 鯉のぼり掲揚  
 ◎05/09 (水) 川まつり実行委員会  
 ◎05/12 (土) 第 168 回定例会, 平成  
 23 年度総会  
 ◎05/20 (日) 鯉のぼり掲揚  
 ◎05/21 (月) 川まつり実行委員会  
 ◎05/27 (日) 第 14 回空堀川・川まつり  
 ◎05/31(木)富士見小学校での総合学習  
「ヤゴ救出作戦」 支援  
 ◎06/04.05 下堀広苑手入れ作業  
 ◎06/07.08 ふれあい広苑手入れ作業  
 ◎06/09(土) 第 168 回定例会, がたろう  
 通信 71 号発行  
 ○6 月中 身近な水の一斉調査, 24 年度  
 第 1 回理事会, 川まつり反省会, 大岱  
 小総合学習を予定  
 ◎06/29 八郎山保全作業  
 ◎07/14 第 169 回定例会  
 ◎07/28 東大和市クリーンアップ  
 ○8 月中 下堀・ふれあい広苑定例作業  
 を予定  
 ○09/08 第 170 回定例会, がたろう通信  
 72 号発行

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方は是非お問合せください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：

入会金 2000 円,  
 年会費 2000 円

団体・法人の場合：

入会金 一口 10000 円,  
 年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要)：

個人 年会費 2000 円,  
 団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

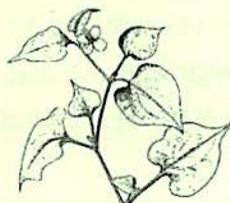
口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX：042-394-9978



# からぼり川

がたろう通信

第 72 号

2012年10月13日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

発行責任者：友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10



## 八坂小学校5年生の空堀川体験学習

9月20日(木曜日)午後2時～3時半。秋晴れの空堀川「井戸端前」で恒例の花壇造り体験学習が行われました。5年生3クラスの約120名がめいめいにショベルで穴を掘り、300株のペコニアの苗を手際よく植えました。今回は東村山警察生活安全課による「子ども達の社会参加活動」のイベントで、苗木や資材は同課で用意し、当会から7名が参加して植え方の指導や見守りの支援を行いました。



約半年の実験結果の概要は下記の通りです。

- 食事が減った。朝食パン、5枚切りが8枚切りに減った。昼・夜の量も7割程度。
- 排泄は2日に一回を期待したがほぼ毎日あったので水の使用量は減らなかった。
- 排泄の量はほぼ半減した。便秘・下痢は一度も無かった。
- 体重・体脂肪率・内臓脂肪量は増減なし。血圧の薬は2ヶ月後に4mgから2mgに減った。
- 健康診断の結果、諸々の数値は正常範囲に入っており、赤血球の量が正常値に回復した。
- 嗜むことに専念したので味を楽しむ境地にまで至らなかった。
- 仲間と食事するとき時間がかかるので多少迷惑をかけた。

まだ半年程度の結果ではありますが自分としては十分手応えを感じており、実験を継続して習慣になるように努めたいと考えています。イグノーベル賞は期待できませんが結果は悪くないので試してみる価値はあると思います。皆様もチャレンジされてみてはいかがでしょうか。



川まつりでこいのぼりと泳ぐ子供達

## 「空堀川（下砂橋～東芝中橋）整備に関する懇談会」が発足

小倉安洋

去る9月3日、標題の第1回懇談会がやっと開催され発足した。この懇談会の設置については、数年前から市内で最も蛇行の著しい空堀川のこの箇所を、流れが残こされ生き物がいて親水性のある望ましい姿にしようと、市民と行政が話し合い協働する場として取組んできました。

今回の発足は、学識者を座長とする会としての設置について何回も申し入れしてきた結果であります。不十分ながら何とかそのような場ができ、発足したことは素直に良かったと思っています。ただ、都の事務局から提案された規約で明らかになったものは、単に意見交換するとの内容であり、場をつくったという形だけのずさんなものでした。これについては、意見を出し修正には至らなかったものの、合意形成まで十分な議論を行うことが委員全員で確認されたことは、せめてもの成果になりました。

問題は、都が提案した蛇行するいわゆる旧川部分の取り扱いを示す整備案です。空堀川の最大の水源である工場排水が流入する東芝中橋から官前一の橋までの蛇行部の殆どを、埋め立て緑道にするというただ一案のみの提案であり、全くひどいものです。以前、流域連絡会にも提出してきた新旧の両川を活かす2WAY方式は考慮されていません。その理由は、新川と旧川の河床の高さが異なるからというものです。一方的に深々と掘り込み幅の広い直線的な新川をつくっておきながら、河床の高さの違いを理由に旧川の流れを残せないとは！

実は、東大和市には先達が時間をかけて策定した東大和市都市マスタープラン（平成9年策定）があり、そこには空堀川の整備について下記のように記載されています。改めて抜粋します。

まず、「ふるさとの緑と水をまもる」の項では、「～水辺などの、生活に潤いを与えるふるさととしての環境を、生態系に配慮しながら保全していきます。」とあります。

以下、各項目の同様な記述を列挙します。

「水辺の保全・活用」の項では、「空堀川・奈良橋川は改修に合わせ安全性の確保とともに、水とふれあい生き物と親しめる水辺空間の整備となるよう東京都に要請し、～」

「景観都市づくり/河川景観等の整備」の項では、「河川等の空間は、緑地とともに人々の心にうるおいや安らぎをもたらす貴重な資源として重視します。 ●空堀川等の河川周辺や野火止用水周辺では、四季折々の自然や、ゆっくり散策が楽しめる水辺空間をつくります。」

「環境共生都市づくり/自然環境の保全/身近な自然の保全・再生」の項では、「～空堀川や野火止用水の水辺環境、～点在する湧水など、身近な自然を保全します。また、水辺や湿地を中心として、生き物の生息環境を確保するビオトープ事業などの検討を行います。」 つづけて「抱える課題」の項では、「空堀川は、自然と調和した護岸や親水機能を備えた整備が望まれます。また、旧河川敷部分を親水公園化するとの検討も課題です。」

「協働の都市づくり」の項では、「都市づくりを着実に進めるには、そこで活動する人たち（市民・NPO・企業等＝市民）が、まちづくりを自分たちの問題として捉え、長期にわたって継続的に取り組んで行くことが大切です。

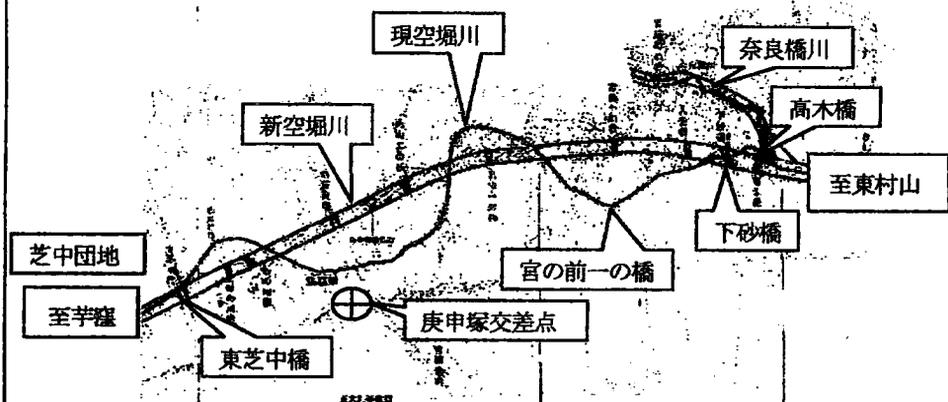
市民と行政が協力し、それぞれの立場で役割を果たしながら都市づくりを進める体制づくりに努め、都市づくりの理念に掲げた、市民と行政による協働の都市づくりを推進します。」

以上のように、当時、策定に当たった関係者は、時間をかけて、しっかりと将来の東大和市の都市像である「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」を念頭に置いて、各項目の中身を検討したものと考えます。私たちは、このマスタープランを無視するわけにはいきません。

ましてや、平成19年、21年と2回に亘り、市議会に都市マスタープランに従った親水公園の実現を求める陳情書を提出し、議会の採択を経て都知事あてに陳情に沿った意見書が送付され、加えて、本庁河川部に対しても、同意見書のフォローもし理解を求めてきました。更に「空堀川をいい川にする市民の会」のアンケートにも協力し、流域500世帯の意向もまとめて、関係者に配布説明もいたしました。アンケートの内容は、本誌「がたろう」にも掲載させて頂きましたが、約70%の人が、埋め立てて緑道にするのではなく、親水公園のような水辺を残すというものでした。

私たちは、都市マスタープランやアンケートの結果を真摯に理解し、「いい川づくり」に取り組まなければなりません。旧川の流れを残して、親水性のある水辺を保全することは、下流域の川づくりにも良い効果をもたらすものと確信します。安易に埋め立てて、最大水源の工場排水を大きな新川に落とすことになれば、今でも困難な流れの維持はできなくなり、文字通り“涸れ川”をつくってしまうことになることでしょう。多くの“川友”のご支援を切に願うものです。

#### ＜東大和市内の空堀川（東芝中橋～高木橋）新川と現川の関係図＞



## 「河川敷草刈りの事前調査」について

神山みつ江

今年も空堀川草刈りの事前調査を行った。東京都職員と刈取り業者、私たち市民団体の三者合同調査は恒例行事となった。目的は市民の安全と河川環境保全である。はびこる外来種は除去して、貴重な在来種を保護していきたい。外来種が減れば、在来種の生育するスペースができる。秋の七草が見られるようになったらうれしい。

具体的には、以前河川に普通に見られたオギ、ヨシ、ススキ、ヨモギなどを保護してきた。空堀川では1ヶ所でしか見られない珍しい植物もある。マメ科のカワラケツメイである。昔はどこにでも見られたらしいが、現在で私が目にするのはここだけである。ツル性の植物では、ガガイモ、カラスウリ、センニンソウなども保護していきたい。ツル性の植物はセイバンモロコシ、セイタカアワダチソウ、オオブタクサなど河川敷にはびこる外来種の生育を妨げてくれるのではないかと期待している。

三者合同調査は、河川敷の植生についてお互いの思いを話し合える貴重な「場」であり、河川環境について理解を深めることもできると思う。実際に草刈りをさせていただき業者さんたちは暑い中、いろいろ配慮することが多くて大変であるが、注意深く作業をしている様子が見て取れる。今後も継続していきたい合同調査である。



四万十川の沈下橋



## 御成橋ワンドの改修と維持管理について

(柳瀬川-空堀川流域連絡会での検討と経緯)

国田 隆雄

東村山市民スポーツセンター前からの道が空堀川を渡る“御成橋”の下で、去る6月27、28、29の初夏、暑い中3日間を北多摩北部建設事務所の方々と流域連絡会のメンバー及び“空堀川に清流を取り戻す会”と地域住民の方々の応援を頂いて、かねてより“柳瀬川-空堀川流域連絡会”に提案し検討を重ねてきた『御成橋ワンド』の造成を行いました。



工事をしている当初から付近のみなさんが橋から覗き込まれて何が出来るの？と興味津々に多くの関心を寄せて頂きました、

本来ワンドの造成計画と主旨を、事前に地域の皆さんにもっと広く知って頂く広報の努力をすべきだったのですが、完工直後から排水溝下の土囊が動かされたりして気をもみました、今の所排水溝下の土囊をコンクリートの固定的構造物に作り替える計画は持っておりませんが、皆で手作りしたワンドに誰かが手を加えるのは面白半分のいたずらだとは思えません、どなたか、それだけ関心を寄せて頂いているのだと思っています。

結果、事前の計画準備不足が工事にも響いたのか、当初の目的からワンドの機能があまり満足のゆく結果を得られたとは言えませんでした、流域連絡会のメンバーが思い描いていた構想と、実際に工事の準備に当たって手配頂いた北多摩北部建設事務所の計画とにくい違いがあって、両者のワンド設計詳細をもう少し細かくすりあわせしておく必要があったようです。

いずれにせよ年内、渇水期にはもう一度ワンドの手直しする計画です、皆様には大変ご心配を頂き、またご迷惑をお掛けいたしました、渇水期でも魚の命あふれる空堀川”にすべく、今後も一歩ずつ進めて行きたいと思っています。何卒このワンドに勝手に手を加えたり、いたずらしたりせず優しく見守ってあげてください、これからもご協力頂きます様お願い致します。

## これまでの経過と今後の予定

(2012/6/9～2012/12/8)

- ◎06/09 第169回定例会、  
がたろう通信71号発行
- ◎06/09 身近な水の一斉調査
- ◎06/13 八坂小総合学習の打合わせ
- ◎07/05 第14回川まつり反省会
- ◎07/06 損保ジャパン打ち合わせ
- ◎07/11 第3回空堀川・子どもの  
水辺協議会
- ◎07/14 第170回定例会
- ◎07/23 河川敷草刈り調査立ち合い
- ◎07/28 東大和クリーンアップ
- ◎08/06 清瀬水再生センター見学
- ◎08/8-9 下堀・ふれあい芝生管理
- ◎08/16 井戸端生垣手入れ
- ◎09/07 会報発行体制の検討会議
- ◎09/08 第171回定例会
- ◎09/20 八坂小総合学習・花壇造り
- ◎10/05 親睦会
- ◎10/13 第172回定例会  
がたろう通信72号発行
- ◎10/15～18 下堀・ふれあい広苑定例  
作業
- 10月中旬 井戸端倉庫整備
- 11月初旬 八坂小総合学習
- 11/10 第173回定例会
- 11月中旬 大岱小学校体験学習
- 11/17 空堀川クリーンアップ
- 12/08 第174回定例会

## 会員募集

NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」  
では、会の活動を支援し参加してくださ  
る方を募っています。

NPO法人の活動に関心のある方はお問  
い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：

入会金 2,000円

年会費 2,000円

団体・法人の場合：

入会金 一口 10,000円

年会費 一口 10,000円

賛助会員（入会金不要）：

個人 年会費 2,000円

団体・法人 年会費 10,000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致しま  
す。

東村山市萩山町2-19-10

友保（ともやす）

TEL/FAX：042-394-9978



# からぼり川

がたろう通信

第 73 号

2013年 1月 12日  
発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>(工事中)

空堀川ブログ・・・<http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者：友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

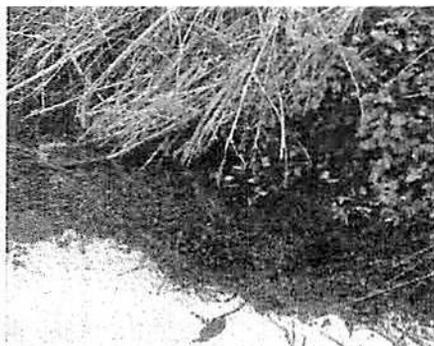
## 新年のご挨拶

NPO 法人 空堀川に清流を取り戻す会  
理事長 友保邦弘

皆様 明けましておめでとうございます。

一昨年 3/11 の大災害からの復興が遅々として進まない内に昨年末あわただしく新政権が誕生いたしました。国民の期待を裏切らないよう、新しい希望に満ちた国造りに励んで頂くよう強く要望します。

当会も地域の発展に寄与すべく、昨年の実績を検証し、重要な活動分野の内容を充実させて豊かな自然環境の創設と活力ある街づくりに貢献したいと考えております。そのためには有能な会員を確保して活動メニューの多様化を図り、各方面からの様々なニーズに応えられるよう体質強化に努めます。多くの市民の方々が当会の活動に参加して頂きます様会員一同心よりお待ちしております。



御成り橋ワンド付近にて 分部会員撮影

# 子どもの水辺（馬頭橋～第二砂川橋）の河川敷内の植生管理(木本編)

友保邦弘

子どもの水辺の河川敷の樹木管理はおおむね「柳瀬川・空堀川流域連絡会」にて策定された「草本・木本維持管理ルール」に準拠するが、子どもの水辺区間については特に植生が豊かであり、子ども達が日常的に利用する区間でもあるので、より自然環境や安全に配慮した樹木管理が望まれる。

## 基本的な考え方

**伐採する木：**●河川構造物（護岸など）に悪影響を及ぼす危険のある木

- ゴミ等が掛かって流れの障害になる木
- 交通の障害になる木

**残す木：**●株立ち物は水流を妨げないよう流れに並行に数本残す。

●河川敷の高木は比較的根が浅いので強風によって倒れるのを防ぐため樹高を低くする。（樹高を半分～三分の二程度にする）

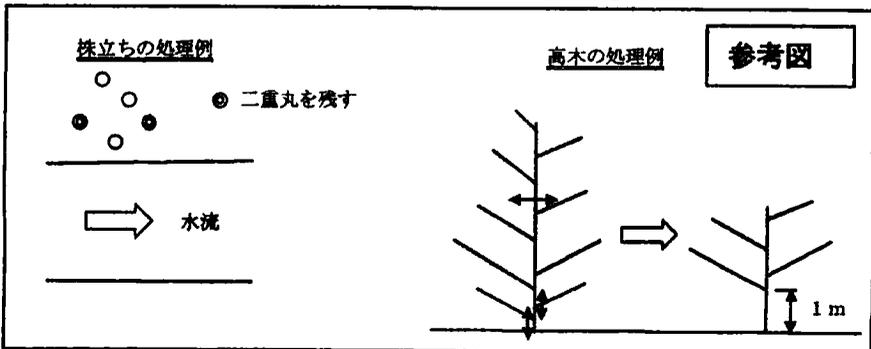
●残す木はゴミが堆積するのを防ぐため原則として1m程度より下の枝は切る。

●ネコヤナギなど細くしなやかで、下流に向かって倒れている木は水流の妨げになりにくくゴミも掛かりにくいので残す。

これらの管理を行うために今年中に以下の手順で作業を進める。

手入れする樹木の選定・区分け作業を行う（10月中）。

- そのまま残す木・・・赤テープを巻きつける
- 樹高を低くする木・・・黄テープを巻きつける
- 根元から伐採する木・・・何も付けない。



●少なくとも4日前に実作業日時を当会の責任者に連絡してください。作業に立ち会います。

●以上の方法に基づいて年内に伐採・剪定作業を行う。来年以降は本年の結果を参考にして対応する。

### 第31回「空堀川クリーンアップ」について

垂水荘司

毎年春と秋、年2回の空堀川のクリーンアップは15年、今年も11月17日秋のクリーンアップが行われた。降雨の心配もよそに午前中はくもり空で、午前9時～12時に無事終了できた。

クリーンアップ会場の範囲は、第一会場は上橋から西武新宿線鉄橋(約2.2Km)、第二会場は西武新宿線鉄橋から大沼田橋(約3.7Km)です。又上流の東大和市でも第17回の空堀川クリーンアップが同時開催された。

今回の参加者は第一会場、第二会場合わせて73名で内38名が森永乳業関係者でした。残念な事に特に第二会場は近隣の方、また空堀川遊歩道を利用されている方の参加者が非常に少ない事です。今回は市報のみで、特に事前に折り込み広告はなしでした。一般的に受益者負担は当たり前と世間では言われていますが、今回は逆の現象で広報の方法に問題があるのでしょうか?

ゴミ収集は空堀川の除草の後であった為ピンポイントで処理できた所もあり時間が省けました。しかし除草業者はゴミの処理は別作業なのか発注者に確認したいと思います。今回のゴミ収集に当たり、ゴミの種類に特徴があります、昨今は家電製品、テレビ、洗濯機、扇風機、掃除機、炊飯器、台付炬燵等、又大型なものでは自転車(6台)、三輪車、耕運機(手押し式)等、通常は粗大ゴミとして扱われるものが、時間と費用の節約のためですかね?川に捨てれば誰かが処理してくれる、これは犯罪です。管理者である東京都の北・北建さんほどの様に受け止めているのか確認したいものです。東村山市では数年前からゴミを有料化にしましたが、この影響は多分に有ると思います。当会は毎年ゴミ収集の予定を立てていますが、川がきれいならばこの作業は必要ないものです、汚された川をきれいにする前に、汚さない川を実現するために「空堀川ゴミGメン」を定め警察権の及ぶ制度を作り罰金制にしてはどうか?タバコポイ捨て条例があるように、ゴミポイ捨て条例を作るべきです。いつまでも野放しで、一般市民のボランティアばかりに頼っていたのでは、立派な福祉国家とは程遠いものです。是非とも行政の方たちの協力が必要と思われます。

約2時間半のゴミ収集でしたが、参加者は非常に熱心に作業され、川がきれいになっていく様を目前にして作業を完了しました。完了後は事前に用意した「トン汁」を皆様に召し上がって頂きました。又次回のゴミ収集にご参加くださる様お願いし散会しました。

## (続)「空堀川(下砂橋～東芝中橋)整備に関する懇談会」報告

小倉安洋

この懇談会も、9月の第1回から始まり11月15日には第3回を終えた。当初、懇談会事務局(北北建)は「4回で終えたい。年内には終わりたい」といていた。2回を終えたところで、事務局に対して、回数や時間の制限を緩めてもう少し余裕をもって議論を深めてもらうよう申入れを行った。これは、十分に議論を深めて合意形成を得るためには、時間をかける必要があると判断したからである。今後、果たしてどのような対応をしていくのか心配である。

また、12月の東大和市議会では、理解ある市議に一般質問で取り上げてもらったが、時間がなく市の十分な回答は得られなかった。別件で市長と面談した際には、尾崎市長も事実上の最大水源である工場排水が新川に流された場合の水濁れに大きな懸念を示していた。その市長の思いは担当者に伝わっていると思うが、都と市という縦割り行政の壁を考えるとまことに心配である。それよりも大きな心配は事務局の対応である。今回の懇談会の進め方は、毎回終了後に委員からアンケート形式で質問・意見を求め、次回に回答する形をとり、限られた時間を有効に進めようとするもの。その工夫は是とするが、問題は回答内容である。第3回懇談会の資料として配布された「第2回アンケートに対する回答」で問題が発生した。『いわゆる「いい川づくり(多自然川づくり)」の技術基準に関する国交省通知』の恣意的引用の問題である。

実施された新川工事がこの技術基準に沿っていないとの私の指摘に対する回答は、国交省通知から抜粋引用したものであったが、これが「恣意的で悪意を感じざるを得ない」とんでもないものであったのである。以下に私の指摘とそれに対する事務局の回答を示し、その後に問題点を挙げることにする。会員諸氏のご意見を頂戴したい。

<私の指摘>新川の構造は、直線的で流速を速める古い設計思想による路線決定となつています。横断面も定規断面の上、複断面の箇所もあり「多自然川づくり」の技術指針に反していると言わざるを得ません。自然な川の姿からは遠いものになってしまいました。

<事務局の回答>

・ご指摘の「中小河川に関する河道計画の技術基準」は生物の生息環境や自然景観を保全創出するために技術的な助言として、国土交通省が通知したものです。基準中にも記載があるとおり、この基準は個々の現場の状況や社会的条件を踏まえ、個々の部分については別の考え方で計画や設計を妨げるものではありません。すなわち、河川の整備にあたっては必ず守らなくてはならないものではなく、個々の河川の現状を踏まえ、可能な点については整備の際に考慮すべきものである。

・本懇談会の対象区間では、新河川の大部分で護岸の整備が完成しております。この状況を踏まえ、基準やこれまでの整備事例等を参考にし、治水に対する安全性を確保した上で、親水整備を行ってまいります(親水整備の内容は今までの懇談会でお示ししているとおりです)

### ＜この回答の問題点＞

事務局回答のアンダーラインの部分は、国交省通知の技術基準を正確に引用していません。以下に、本通知の正しい文面を抜粋引用します。（「」の部分）

「本通知は、河川全体の自然の営力と自然の営みを視野に入れ、時に猛威をふるう自然の力から生命、財産を守り、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全創出するために、河川砂防技術基準における河道計画のうち、特に中小河川における河道改修の際の河道計画を補足し、計画作成に当たっての基本的考え方及び留意事項をとりまとめたものである。

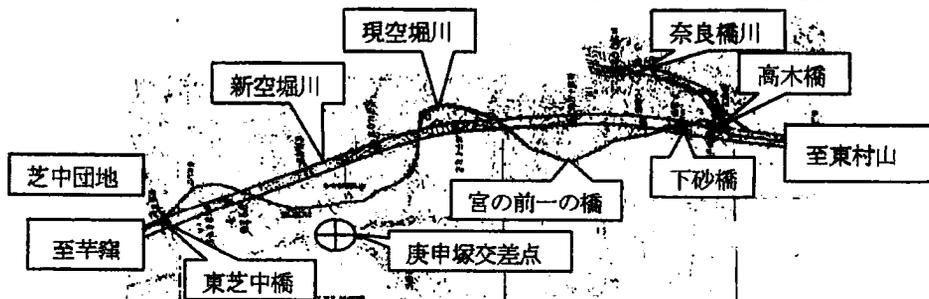
なお、個々の現場の状況又は社会的・文化的条件若しくは今後の技術開発の進展等により、本通知に基づくものよりもさらに良い川づくりを行える可能性もある。そのような場合には、本通知の趣旨を全体として尊重しながら、個々の部分については別の考え方で計画・設計を行うことを妨げるものではない。」

以上のように、事務局回答は、引用のアンダーラインの箇所を恣意的に抜粋しており、容認できるものではありません。事務局は、直ちに訂正しこの通知に基づく「いい川づくり」を実施するよう切に望みます。今回の事務局案に対する私見を以下に示します。

- ① 旧川を埋めて緑道にする案を白紙に戻すこと。
- ② その上で、親水性に配慮した旧川整備がどこまで可能かを検討すること。（項目⑦に関連）
- ③ 新川の複断面の箇所は、単断面に近づける工夫をすること。
- ④ 新川の河床張りは、東村山市域の水溜れ箇所で実験して効果を確認の上、試みること。
- ⑤ 新川への工場排水の導入実験は、河床張り効果が十分に確認された後に実施すること。
- ⑥ 新川、旧川の両方を活かし流域全体を親水性や景観等に配慮したモデル地区とすること。
- ⑦ 現懇談会とは別に、複数の流域市民有志と設計者・第3者の専門家（座長とは別に）で構成する技術部会を設けること。（ここで得られた案を懇談会に提案し最終決定する。）

以上

### ＜東大和市内の空堀川（下砂橋～東芝中橋）新川と現川の関係図＞



## 私が入会した理由

平田 健一

2012年10月に入会した平田です。1949年(昭和24年)生まれです。「まだ入っていなかったの?」とおっしゃった方もいらっしゃいましたが、退職を期に正式に入らせていただきました。息子の和彦が学生時代にお世話になっていて、少しずつ関わらせていただいていたました。私は、土木の技術者で1972年にあるゼネコンに入り、最初は工場土木を中心に設計をし、次にゴルフ場等の大規模開発の設計・環境アセスメント・開発申請を行いました。その後、ゴルフ場の工事を2つ、リニア新幹線の工事を担当しました。それから、ISO9000 品質マネジメントシステム、ISO14000 環境マネジメントシステムを担当し、今年9月で退職しました。今まで、正式に入らせていただかなかったのは、務めていた会社が空堀川を管轄している東京都北多摩北部建設事務所から仕事をいただいていたこともあり、変な圧力がかかることを恐れたためです。

私は、小学生のころ父親の郷里である岡山の溜池で釣り(フナ、オイカワ、ウナギなど)をし、川にはホテルが乱舞し、沢にはサワガニがいて、とても楽しかった記憶があります。子どもたちには、そういった環境に触れて欲しいと思い、子供が小さい頃から前沢の湧水、北山公園などに連れていき、妻の実家でも義父に頼んで釣りをさせてもらいました。息子は楽しかったようですが、娘は少し小さすぎたのか「あまり楽しくなかった」と最近聞かされてびっくりしました。息子がこの会に入ったのも、そういったことがあるかもしれません。その頃、息子に東大和の河川改修をしている所に連れて行かれ、土木技術者として、この河川改修を見過ごすことはできないと強く思いました。私は、大学で土木工学の一分野である河川工学(河川の設計・管理)、水文学(雨の降り方など)、水理学(水の流れ方)、土質工学(土の性質)などを勉強しましたので、土木の技術的な面・法律的な面では、力になれると思います。私は、2004年からゼネコンとしての環境保全に携わってきましたが、まだ環境関係(水生生物、魚、鳥、植物等)の知識は不足しており、これから色々な方に教えていただこうと思っています。ただ、60才を過ぎて特に記憶力の減退が激しく、一度聞いても覚えられないことが多々ありますので、同じ質問をしてもいやな顔をしなないでお付き合いをお願いしたいと思います。

江戸時代から空堀川は水のない川だったようですが、最近東大和の歴史を調べたところ、1万2000年前から平安時代まで1万以上 今回改修している空堀川のほりに遺跡があり、人々が生活していたことがわかりました。その当時は、井戸を掘る技術もなかったでしょうから、空堀川にはきれいな水が流れていたのではないのでしょうか?水がなくなったのは、江戸時代 多摩地区の樹木が伐採されてからではないかと考えられます。現在水がないとってあきらめずに、水のない川にしたのは人間なのですから、時間は掛るかもしれませんが人間が努力すればこの川に水が流れるようにすることは可能だと思います。私は、今までの経験と知識を生かして、この会の活動を通じて空堀川の環境改善に少しでも貢献し、空堀川がこの地域の人たちの憩いの場になって欲しいと思っています。よろしくお願いします。

## 八坂小学校5年生の総合学習に参加して 分部 光春

八坂小学校5年生の総合学習(空堀川のゴミ拾い)が11月1日午後1時半より子供の水辺周辺で行われました。小学生111名、先生3名、東村山警察署より生活安全課の方が2名、そして当会よりチョット少ないけれど6名が参加して晴天の下おこなわれました。小学生のゴミ拾いと言う事で、石井会員より子供達には刺激が強いアダルトゴミや糞尿などを事前に回収して見せないようにしたい、との事で(家内には)そこまでする事無いよと言う人もいましたが、午前中に会員で回収しました。今時の教育委員会に聞いたらどんな風に言うんですかね。そんな事あんな事がありまして、小学生、111名が集合、集合と言ってもなかなか整列が出来ないんですが、初めての事なので今回はこれでOK。そういえば去年の生徒も大変だったけど何回かすると、集合も仕切りもバッチと決めて最後はハイタッチして帰った。今年の生徒にも乞うご期待。



そんなことで4チームに分けて、ゴミ袋と火バサミを配布。これがまた大変。チーム分けは事前に打ち合わせがあったので去年よりは良かったのですが、ゴミ袋と火バサミを何個持たせるかで一悶着。とにかくゴミ袋一つに火バサミ一本の二人一組でゴミ拾い開始。でもこれが正解。誰がゴミを沢山拾うかで競争の様。河原の草むらなんて初めての子もいて、ワイワイ、ガヤガヤ、草むらの中のゴミを拾って知らずのうちに盗人ハギの草の実を一杯つけた子がなかなか取れないで大弱り。ここでナニナニどうしての植物講座、チョットした理科の勉強になったかも。思ったより大きなゴミが多くゴミ袋が一杯に、途中で集積して時間が無いので先を急ぎますが中々進みません、牧童犬よろしくリーダーが追い立てて何とかゴミ分別コーナーに集合、袋の中から不燃物だけ拾い手際よく分別終了。ところが火バサミの回収で一本足りず、班長さんは大弱りそれでも皆の協力で火バサミは見つかり、一件落着。班長さんのホットした顔が良かった良かった、最後の感想でも皆の協力で火バサミが見つかって嬉しかったと仲間感謝していました。きっと記憶に残る班行動だったので。子供達も先生もそして私達も、色々学んだし反省もして、次の回にはもっと手際よく、出来る様に段取りしたいと思います。次からは学ぶ事は多くして、ゴミは少なくなるような総合学習になればいいですね。

## これまでの経過と今後の予定

(2012/10/15～2013/2/10)

- ◎10/15～17 下堀・ふれあい広苑定例作業
- ◎10/25 大岱小総合学習の打ち合わせ
- ◎11/01 八坂小総合学習
- ◎11/07 子どもの水辺樹木管理の現地下見
- ◎11/10 第173会定例会
- ◎11/13 大岱小総合学習
- ◎11/17 第31回空堀川クリーンアップ
- ◎11/28 ユリノ木倉庫修理
- ◎12/08 第174回定例会
- 12/25 忘年会
- 01/12 第175回定例会  
がたろう通信第73号発行
- 01/24 大岱小総合学習
- 01/29 新河岸川流域川づくり連絡会  
清瀬市野塩市民センター 19～21
- 02/09 第176回定例会
- 02/10 第8回川でつながる発表会  
練馬区大泉南小学校 11～16
- 02/ 第15回空堀川・川まつり実行委員会



## 会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



# からぼり川

がたろう通信

第 74 号

2013年 4月 13日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>(工事中)

空堀川ブログ・・・<http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者：友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 市立大岱小学校3年生の総合学習支援

NPO 法人 空堀川に清流を取り戻す会

理事長 友保邦弘

1月24日、市立大岱小学校3年生の総合学習支援を行いました。学校近くの空堀川左岸管理道路にツツジの植え込みがあります。長年の間に枯れて歯抜け状態になった場所にツツジの苗木を植えるイベントです。生徒88名、先生方、父兄の皆さん、当会会員が市から提供していただいたオオムラサキツツジの苗木100本を大奮闘で植えました。5月には綺麗な花が見られそうです。



# 川のはなし

平田 健一

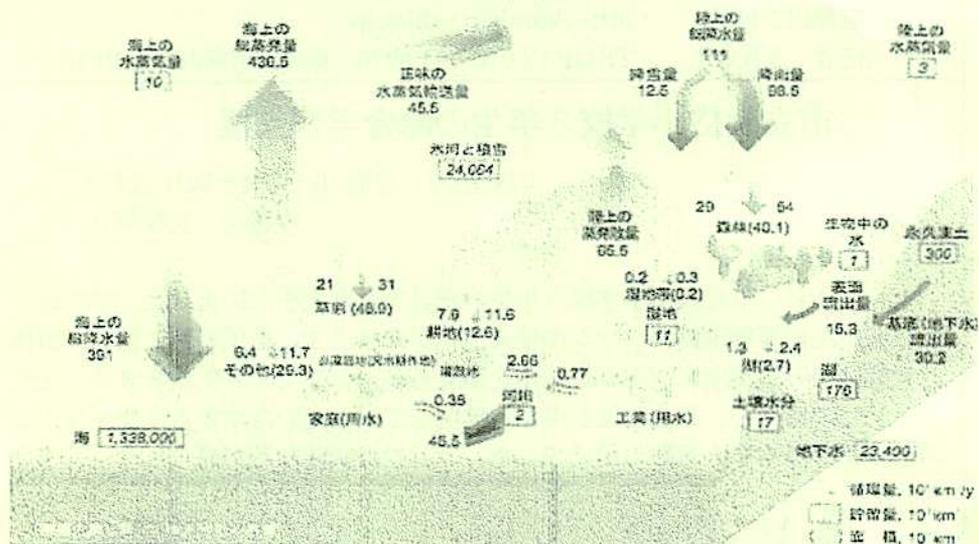
はじめに

皆さんに川のことを知っていただくために、「川のはなし」として何回かに分けて説明したいと思います。

今回は、水の循環について説明します。

## 1. 水の循環

水の循環の現状 下に、地球全体の水の循環を示します。



空から、雨・雪が降ってきて、一部はそのまま大気の中に蒸発します。(蒸発散) 海に降ったものはそのまま海水になります。陸地に降った雨の一部は、川に流れ込み、やがて海に流出します。私達は、その途中で水道用水・農業用水・工業用水として利用し、その一部は下水処理場で処理され、川に戻ってきます。残りは、地下に浸透し、地下水になります。地下水の一部は井戸で揚水されて、水道用水・工業用水・農業用水として利用されます。こういうことを水収支または水循環といいます。

世界の水の量は、約 139 京 m<sup>3</sup> です。(京 (けい) は、兆の 1 万倍) その内、圧倒的に多いのは海水で 134 京 m<sup>3</sup> あり、その内訳は以下のようなっていて、川に流れている水の量は約 200 億 m<sup>3</sup> で地球上の水全体の約 70 万分の 1 に過ぎません。

合計	陸域の水の内訳				
	海水	陸域の水	氷河・雪	地下水	川の水
139 京	134 京	4.9 京	2.4 京	2.3 京	200 億
/100%	/96.5%	/3.4%	/1.7%	/1.7%	m <sup>3</sup>

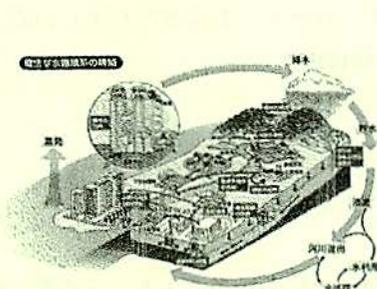
## 健全な水循環とは？

右に健全な水循環を示します。このようになっていれば、降水と水の流出・水の利用・地下への浸透がバランスし、川の水量・地下水の変動が抑えられ、川の生態系も維持されます。これを総合的に考えるのが「総合治水」です。ところが実際には、以下のようになっています。東京都全体は、東京都水循環マスタープランH11.3で試算されています。

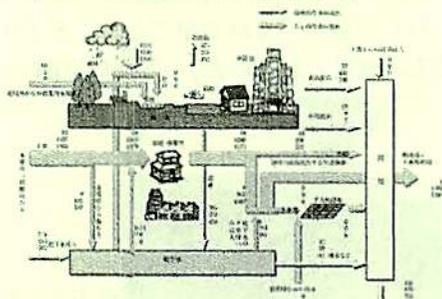
<http://www.mlit.go.jp/tochimizushigen/mizsei/toshisaisei/kandagawa/siryoy4.pdf>

空堀川流域では、少し古いデータ(H7)ですが、以下のように試算されています。

(柳瀬川流域水循環マスタープラン 第2回検討会資料 柳瀬川全体、柳瀬川上・下流部、東川も) <http://www.ara.go.jp/arage/yanase/body4/pdf/paper2.pdf>



雨水の行くえ



(単位：mm/年)

地域	降水	蒸発散	河川への流出	地下浸透
東京都全体	1400	410	630	360
空堀川流域	1230	220	430	550

空堀川流域では、東京都全体・他の柳瀬川流域に比べても地下浸透量が多く550mmとなっています。地下水位が地表面から大きく下がっているためと考えられます。

上水道の源と行き先(水の量を流域の面積で換算したもの：単位：mm/年)

地域	地域内の降水・揚水	地域外の水	上水量	河川流出	下水道	地下漏水
東京都全体	180	830	1010	100	980	—
空堀川流域	0	1330	1330	260	950	130

空堀川流域は、上水道は全て地域外の水(多摩川、荒川)に頼っています。この地域は、荒川右岸流域下水道に属しています。水の行き先は、家庭・事業場から河川への直接流出(下水道の未接続)が20%、流域外の下水処理場(清瀬水再生センター・柳瀬川)へ71%、地下への漏水10%です。流域下水道は、水質保全是良くなりましたが、河川の水が無くなるのが欠点です。現在は更に下水道の未接続が減っており、空堀川の平常時の流量低下の原因の一つです。

## 「空堀川 “いい川づくり” 意見交換会 in 東大和」 報告

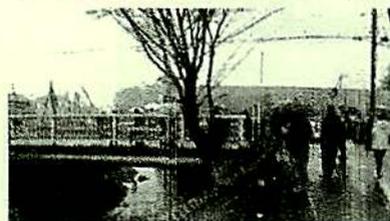
小倉安洋

去る2013年3月30日(土)10時20分、

あいにくの霧雨が降る花冷えのこの日、ご多忙にもかかわらずご参加の尾崎市長と東大和市議4名を加えた約20名の参加者ととともに第1部現地視察が集合地点東芝中橋から始まった。

これに先立ち講師など市外の方と市議2名には、モノレール上北台駅に10時に集合後、立野橋、芝中調整池を視察してもらった。空堀川最大の課題である涸れ川の悲しい現実を視て頂いたのである。

東芝中橋右岸からは、今日も切れることなく工場処理水が流れ込んでいたが、そこには、一行を出迎えてくれるがごとく、ダイサギ、コサギ、カルガモが美しい姿、かわいい姿をみせてくれていた。(写真は宮前一の橋付近)



サギたちの狙いは桜の開花とともにその数を増し始

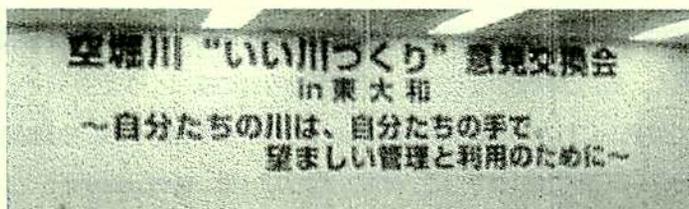
めたオイカワであることは間違いない。最近、「早朝にオイカワの天敵ともいえるカワウが来ている」と私よりやや年上の朝が早いおじさんが教えてくれたのは3日ほど前の話。すぐ下流の砂の川橋から南へわずかに坂を上ると砂の台橋。ここは、この橋名の「台」の字が奇しくも示す小山のような台地。この台地を切り通しのごとく削り取って護岸の上に聳えるように見える擁壁は数メートルにも及ぶ。砂の川橋からオイカワを見る距離感とは大きく異なる。仮に、新川に水が流れてもオイカワの姿を肉眼で認めることは難しいと感じる。

現河川に戻り下流に進むと庚申橋調整池の冷たい無機質なコンクリートが現れる。多くの川を見、いい川を知る者は眉をひそめるが、水害体験者には頑丈で堅固で安心感を与える砦に映るだろうか。直線的にすでに姿を現した新川とそれと交差する蛇行する現河川との立体交差は、とても新旧の両方に流すほどの水量はない水の流し方を巡って、市民をも新川派と旧川派に分裂させ、立体交差させてしまう。このような悲しい対立は絶対に避けたい。それには大変だが、そして時間がかかるかも知れないが、市民が真剣にもっともっと話し合いを続けなければならない。民主主義は面倒でやっかいなシステムであることを認め、一人ひとりがほんの少しでも時間を削り合って、

話し合いに参加してほしいと願う。

午前中の視察は、折り返し点の下砂橋までと進むが、この途中で川の水面をかすめるように、素早く飛んで行ったカワセミを認めることができた人は幸運であった。わずかでもきれいな水があり、そこに小魚が棲むことができれば、いくらでもカワセミに出会えることを保証したい。

午後の第2部は、定刻の1時に開会され、尾崎市長のあいさつの後、プログラム通りに、国交省国総研主任研究官中村圭吾氏による「多自然川づくりについて」、都が不参加となったため私が行わざるを得なくなった「空堀川（下砂橋～東芝中橋）の整備に関する懇談会まとめ案の報告」、多自然川づくり研究会の吉村伸一氏による「空堀川のいい川づくり」と進んだ。いずれもパワーポイントを使った映像を多用した説明であったが、短時間のため十分に伝えきらなかったところがあったかも知れない。



参加者の川に対する知識レベルはマチマチであり、何回もこのような機会を繰り返さないとレベル合わせは難しい。

これも民主主義にとっては、ジェネレーションギャップとともに克服を迫られるところである。（写真は会場に貼られた横断幕）

さて、意見交換会はその名のごとく、最終段階のパネルディスカッションへと進んだ。多くの意見が出された。都の案である現河川の殆どを埋めて緑道とする案に賛成する者。そうでない者。

下流の整備が終わった東村山市民からは、整備の仕方によっては流れが下流まで届かず途中で涸れることへの心配と、緑道となった旧川の悲惨な姿も語られた。上流の武蔵村山市民からは、東大和と同様な川づくりが何をもたらずかと心配する声も挙がった。川は連続し上流下流が相互に影響し合っていることを再認識する発言であった。参加者皆さまに感謝し、今回の報告と致します。

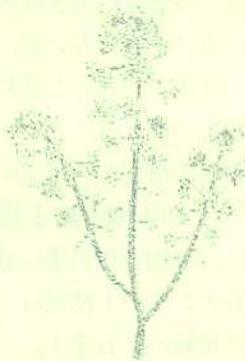
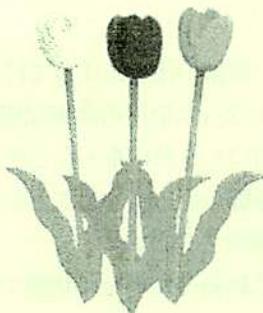
参加者アンケート結果は、まとめが完全に終わっていない状態ですが、速報として下記に掲載いたします。

(6)

## 空堀川 “いい川づくり” 意見交換会 | n 東大和・アンケート結果

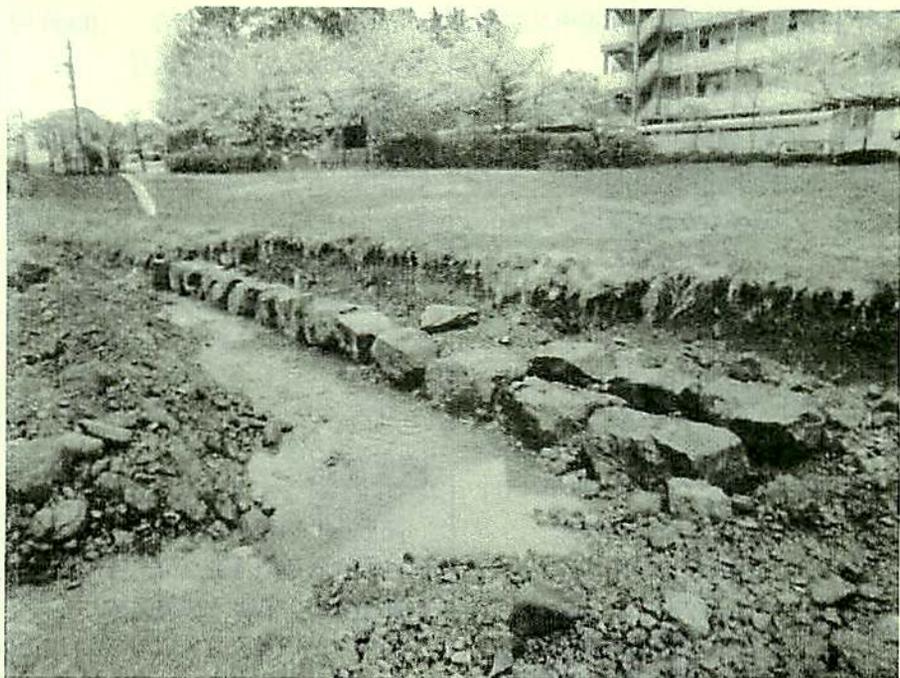
参加者数（午後のみ）：33名、回答：16名、回収率：48.5%

1. 何で知りましたか？⇒1位チラシ40%、1位クチコミ40%、3位インターネット15%
2. 空堀川との関係（住い）⇒1位近い75%、2位遠い25%
3. 空堀川との関係（関心度）⇒関心があった100%
4. 参加した理由⇒  
川が近い。関心がある。自然保護に関心。工事が始まった。水が乏しく涸れる心配。今後の改修に関心。埋められることへの心配。熱心な活動の様子から。川が好き。
5. 参加しての感想⇒1位よかった68.8%、2位良くなかった、どちらとも言えない12.5%
6. 東京都案に対して⇒1位よくわからない37.5%、2位納得できない31.3%、  
3位無回答18.8%、4位納得した12.5%
7. その他ご意見⇒住民説明会で訴えたが結果はコンクリートの川になった。パブリックでは懇談会の理解不足を感じた。講師の説明は理想論だ。公開合意形成の場づくりスタートへ。市民が期待する川づくりを。これから興味を持ち勉強したい。水源を探そう。今回の区間は今さら良くはならない。現河川は残すべき。市民の関心が一番。情報公開が不十分。
8. 住所⇒市内43.8%、市外56.3%
9. 性別⇒男93.8%、女6.3%
10. 年齢⇒1位60代56.3%、2位70代25.0%、3位30代40代80代～6.3%  
以上



## からぼり広場改修工事

からぼり広場の緩傾斜水際が昨年秋の大雨で大きく洗掘されました。子ども達が近寄ると滑落事故になる危険があるので、5月の川まつりで事故が起こらないようにするための改修工事が始まりました。とりあえずの応急処置とのことですが十分研究して景観と安全面を考慮した恒久的な改修が行われるよう期待しています。



## これまでの経過と今後の予定

(2012/12/25～2013/3/31)

- ◎ 12/25 忘年会（於あづま）11名参加
- ◎ 1/12 第175回定例会  
がたろう通信第73号発行
- ◎ 1/14 ふれあい広苑管理道路 植栽  
準備
- ◎ 1/24 大岱小総合学習
- ◎ 01/29 新河岸川流域川づくり連絡会  
清瀬市野塩市民センター 19～21
- ◎ 2/5 柳瀬川空堀川流域連絡会
- ◎ 2/9 第176回定例会
- ◎ 2/10 第8回川でつながる発表会
- ◎ 2/15 からぼり広場洗掘場所の  
補修方法について北々建と立ち合い
- ◎ 2/23 馬頭橋の小彼岸桜の剪定  
清水橋周辺の工事場所見学
- ◎ 3/9 第177回定例会
- ◎ 3/18 からぼり広場補修立ち合い
- ◎ 3/23 花見（下堀広苑）
- ◎ 3/30 空堀川“いい川づくり”意見  
交換会 in 東大和
- 4/13 第178回定例会
- 4月 川まつり実行委員会
- 4/20 春のクリーンアップ
- 5月 春の広苑手入れ作業
- 5/11 第178回定例会
- 5/25 土曜日子ども講座「ヤゴ救出作戦」
- 5/26 第15回「空堀川・川まつり」
- 6/2 全国身近な川の一斉調査
- 6/8 第179回定例会



## 会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」  
「では、会の活動を支援し参加してくだ  
さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお  
問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：

入会金 2000円、

年会費 2000円

団体・法人の場合：

入会金 一口 10000円

年会費 一口 10000円

賛助会員（入会金不要）：

個人 年会費 2000円、

団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保（ともやす）

TEL/FAX：042-394-9978



## 編集後記

花散らしの雨風でしたが、からぼり川  
には滔々と流れる水が戻り新入学をお祝  
してくれているように見えました。  
今回から平田健一さんによる「川のはなし」  
が連載されます。お楽しみに。

# からぼり川

がたろう通信

第 75 号

2013年 7月 13日  
発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>(工事中)

空堀川ブログ・・・<http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者：友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 第 15 回空堀川「川まつり」が開かれました。

岡田 一郎



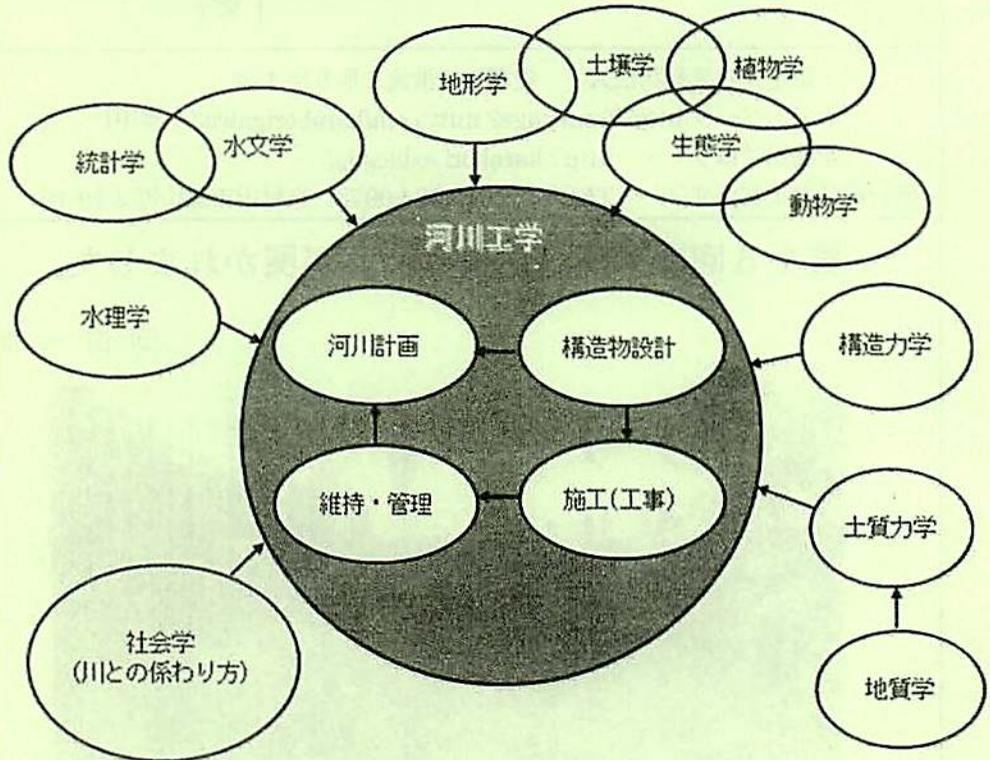
5月26日は朝から初夏を思わせるお祭り陽気になりました。五月晴れの  
大空のもとに70匹余の鯉のぼりが潔く翻り、対岸の大袋稻荷雛子連の祭り雛子  
が響き渡るわくわく広場を中心に、空堀川が市民の身近な水辺として享受さ  
れ、景観・親水性の向上を願って第15回空堀川「川まつりが」が開かれまし  
た。

早くも開会直後から親子連れの家族や地域の市民が集い寄り、今回から新た  
に加わった丸太切りや草笛づくり体験に楽しく挑む子供たちの大きな歓声。人  
気の金魚すくい、ヨウヨウ釣り、鴨レースの3大イベントを仕切った女子と分  
別ゴミ処理に取り組んでくれた男子のボランティア中学生の活躍は見事でした。

当会展示コーナー前での初の試み「川まつりについてのアンケート」は35  
人から回収できました。

## 2. 川に係わる学問

川に係わる学問として、河川工学を中心に以下のようなものがあります。



## 2.1 河川工学とは？

河川工学とは、雨の降り方、降雨の川への流れ込み方、川の中での水の流れ方を研究し、それにより河川構造物（堤防、調節池等）などを設計し、施工し、維持・管理する学問です。

## ○河川の計画

河川の計画は、以下のように行います。

計画確率→計画降雨量（分析）→流出計算→（基本高水流量）→計画高水流量→河川形状の仮定（川の断面、平面線形、勾配）→水理計算→河川断面・縦断の決定

○河川構造物の設計 堤防、護岸、床固め、落差工、魚道の形状・強度の決定

○河川施工（工事） 設計に基づき河川構造物の施工

○河川の維持・管理 河川の構造物・水質・生態を守っていくための作業の実施

## 2.2 水文学とは？

水文学（すいもんがく）は、雨の降り方、水位、流量などを研究する学問です。

降水量の水文統計 過去の降水記録から、雨の降り方を数値計算できる式にします。

空堀川に最も近い気象庁の雨の観測地点は所沢ですが、ここは1994年からしか記録がありません。できれば100年以上、最低50年以上の記録がないと統計的な計算はできません。東京都では、1872年からの記録がある東京気象台（大手町）のデータを使用しています。

確率年：○年に1回の降水量 という言い方をします。これは、統計的に○年に1回起こる雨の降り方です。

通常、河川の設計にはまずこの確率年を決めます。まず、河川の重要度を決めます。河川の重要度は、地域の社会的重要性、想定される被害の質・量から決められます。利根川・信濃川・荒川本流（流域が広く・社会影響度が大きい）のように重要度がA級の川は200年以上とします。空堀川のように、比較的短く、流域面積の小さい河川はE級で、10年以下の確率年を取ります。空堀川を含む東京都内の中小河川は、現在5年確率50mm/時間を目指して改修を進めています。（柳瀬川流域河川整備計画（東京都管理区間）H18.3）

降雨強度の数値化：降雨強度式としてTalbot（タルボット）式がよく使われます。

$i = a / (b + t)$   $i$ ：降雨強度(mm/h)1時間あたりに降る雨の量、 $a, b$ ：定数 地域によって異なります。実際の降雨データより統計的に求めます。 $t$ ：降雨継続時間 雨の降り続く時間（分）

東京都の場合、5年確率で  $a=5000, b=40$  なので、 $t=60$  分（1時間）で50mm/hとなります。

最近、雨の降り方が変わってきて、見直す必要があるのでは？とされています。従来5年確率と言っていた50mm/hですが、所沢のデータでは年によっては3回（2010年）も50mm/hを超えています。最近の5年間（2006年～2010年）では、4回50mm/hを超えています。

水位：水の高さ 水深：川の水の流れる深さ

**流量**：水位に応じて流れる流量が変わる。水位流量曲線は、水位  $H$  と流量  $Q$  との関係を表したものです。 $H$ - $Q$  曲線ともいいます。これがあれば、水位を測れば、流量が推定できます。

降雨から河川への流出量を求める方法：合理式、単位図法、流出係数法、貯留関数法、タンクモデル法などがあります。現在は合理式で計算する場合がほとんどです。

**合理式**： $Q=CiA/360$      $Q$ ：川に流れる流量( $m^3/s$ )

$C$ ：流出係数＝河川に流れこむ流量/降った雨の総量  $C$  は、畑地では 0.1 以下、市街地では 0.9 など大きな差があります。現在の空堀川では、将来の市街化の進展も考慮して 0.8 としています。 $i$ ＝降雨強度( $mm/h$ ) 1 時間あたりの降水量  $mm$ 、 $A$ ＝流域面積( $ha$ ) ある計算地点まで雨水が流れてくる地域(流域)の面積

### 2.3 水理学とは？

水の流れ方を研究する学問です。河川(水路)の断面形状・勾配・流量を与えて、水深・流速がどうなるか？を計算します。詳細は、次回で説明します。

### 2.4 地質学・土質力学とは？

地質学は、土の歴史、土の色・粒子の大きさなどから土を分類する学問です。土質力学は、土の力学的性質を研究する学問です。これによって、土で作られた堤防がどの程度の力に耐えられるか？堤防を通してどの程度水が漏れてくるか？などが分かります。

次回は、「川の流れの計算方法とは？」です。

## 第32回「空堀川クリーンアップ」開催

垂水荘司

2013年4月20日(土曜日)、恒例の年2回の空堀川一斉清掃が実施されました。天候は薄曇りで雨の心配もなく清掃活動には絶好のコンディションでした。



昨年より上流の東大和市と同時開催で空堀川のクリーン度がひと時アップする時期でもあります。東村山市の範囲は上流の上橋から西武新宿線鉄橋(約2, 2km)を第1会場、下流は大沼田橋(約3, 7km)までを第2会場に分けて実施しました。朝9時開始時間でしたが8時半頃より集合された参加者は、皆ボランティア活動に長けた方々で開始時間を待ちわびていた様子でした。

開始前に作業の方法、安全等について説明し、特に今回は前日測定を行った川の放射能について説明を行いました。空堀川に流れ込む排水口周辺の数値は多少高目でしたが、他はほとんど問題がないことを説明しました。尚ご心配の方には詳細を説明しますのでお申し出くださる様アナウンスしましたがどなたもおりませんでした。今回の参加者数は2つの会場合わせて74名で、昨年11月の73名とほぼ変わりませんでした。



第1会場では市民16名(内幼児3名)、行政3名(北北建)、森永乳業14名、当会会員4名、その他料理関係者(トン汁)6名、計39名。

第2会場では市民5名(子ども)、行政0名、森永乳業青山工場長以下14名、当会会員14名、計35名でした。今回は市報と新聞の折り込みチラシ(8200枚)および立て看板にて広報しましたがチラシを見て参加された方は4名にすぎませんでした。収集されたゴミの種類とその量は燃えるゴミ66袋、燃えないゴミ102袋、粗大ゴミでは自転車5台、折り畳み椅子1脚、衣装ケース4個、電気炊飯器1個、カーペット2枚、その他破損傘8本、ガラス鑑賞魚鉢2個、鉄屑約20kg等でした。ゴミの山を見て、残念ながら一向にゴミは減らないどころか、一部にはクリーンアップに合わせてまとめてゴミ捨てに来る人もいます。

我々は空堀川の環境を良くするため、川に生息している生き物が安全に共存できることを願って活動しております。—Volunteer—とは志願者の意味で福祉事業、社会奉仕に無報酬で奉仕活動をすることですが、自然環境を破壊する人々がなすままに、放置することは誰でも見過ごせないと思っておりますが、ゴミGメン的な監視できる制度を設け取締る方法を考えたいものです。

毎回森永乳業様には多くの方に参加いただくとともに、飲み物の差し入れをいただき誠に有難うございます。清掃中に皆様に飲んでいただきました。

約2時間の清掃活動の後は、当会で用意したトン汁に舌鼓を打ち、次回の参加にもお願いして解散しました。

## 空堀川の希少種

神山みつ江

空堀川は都市河川であり、都市河川の植物は、一般的に雑草とされている植物が多い。畑や庭に生えてくれば抜かれてしまう草である。しかしそんな雑草の中に、ときには貴重な植物とされる植物が見つかることがある。ここではそうした植物について触れてみたい。

花の咲く季節にこだわらずに列挙すると、カワラケツメイ、フジバカマ、ヒトツバハギ、イヌビワ、キカラスウリ、スズメウリ、ゲンノショウコ、カラスノゴマ、カントウタンポポ、カワヂシャ、ヒメウズ、カジノキなどである。中にはカラスノゴマ（シナノキ科の1年草）やカワヂシャ（ゴマノハグサ科）、ヒメウズ（キンポウゲ科）などのように毎年見つけられるとは限らない植物もある。特にカワヂシャについては、もしかしたらオオカワヂシャと交雑し、絶えてしまったかもしれないと心配している。カワラケツメイ（マメ科）は、以前にも書いたことがあるが、図鑑には「至る所の原野や道端に多い1年草」とあるものの、私は空堀川の1カ所で見ただけではない。河川敷には、ヤハズエンドウ（カラスノエンドウ）、スズメノエンドウ、シロツメクサなどマメ科の植物は多いが、カワラケツメイをもっといろいろな場所で見たい。

フジバカマ（キク科）は、昨年秋に初めて観察された草本だが、地域の希少種でもある。昨年の春に初めて見つけたときは、何であるかを特定できず経過観察としたが、秋の調査で花を確認したときは興奮した。今後の経過を注意深く、大切に見守っていきたい。

**フジバカマ (2012. 10. 9)**



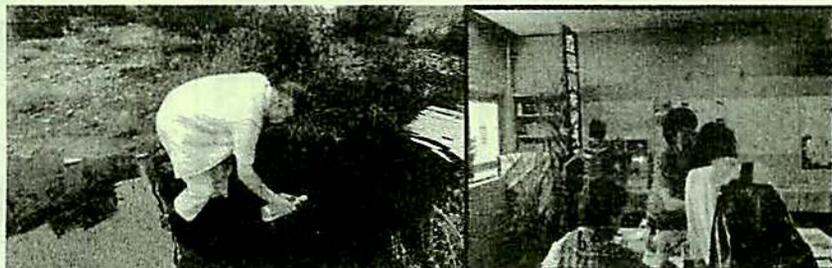
ヒトツバハギ（トウダイグサ科）も、東村山市史の資料編によると「地域の珍しい植物」とされている。業者の刈り取りの際、灌木のためか草本ではないのに何度となく刈り取られてきたが、そのたびに復活して安心させてくれる。木本で付け加えたいのが、クワ科のカジノキである。普通のクワは空堀川ではたくさん見られ、果実もよく実っているが、カジノキは1本だけだった。それが伐採された。残念である。カントウタンポポは周知のとおり、セイヨウタンポポの増加であまり見られなくなっているが、空堀川で見ることができる。総包が部分的に反り返っている交配種と思われるタンポポはセイヨウタンポポとしているが、総包がすべて縮まっているカントウタンポポが10数株まとまって見られる場所がある。さらにタンポポを1株ずつよく見ていくとあちこちで散見される。道端でもたまに見かけることがあるので、興味があれば見つけてみてはいかがだろ。関西では珍しくないシロバナタンポポも数カ所で見られる。空堀川の植物観察では、毎年何かしら新しい発見があり興味は尽きない。

## 空堀川の現状を“公民館まつり”と“環境市民の集い”で展示

小倉安洋

去る2013年5月25日(土)26日(日)の両日にわたり東大和市蔵敷公民館において、「公民館まつり」が、そして、翌週6月2日(日)には、「東大和市環境市民の集い」が東大和市・市役所中庭で行われました。この2週にわたる恒例行事の中で、東大和市内を流れる空堀川の現状を多くの一般市民に知ってもらうべく、啓発のための展示をいたしました。今回の中心は、市内中流域の整備についてです。前回もご報告致しましたが、東京都は、現行河川の殆どを暗渠にして埋めて上を緑道とする提案を、昨年9月に示し、わずか4回の懇談会を開催し、今年の2月には、まとめ案として、当初案と殆ど変らない案を示してきました。今回の展示では、この都の提案内容を、図面を使って示し、シールアンケートにも協力頂きました。アンケートでは、殆どの方々が反対を示しました。次に挙げたものは、空堀川の現状をあらわすデータです。ひとつは、毎年6月に行う「全国一斉水質調査」への参加データの提示です。CODは少しだけよくなっていますが、ECは高い値になっています。今年は、6月1日に実施しましたが、ECは過去最高値になりました。雨量が少ないことが原因ではないでしょうか。(写真と表を参照願います)

もう一つのデータは、河川敷の空間放射線量です。依然として、市で定めた除染基準を何倍も上回る高い値の箇所が、子どもが簡単に入ることができる階段付近にあり、ホットスポット化しております。以上の空堀川の現状を理解していただくための資料を提示したほか、年3回の河川清掃活動などの活動報告と、それらの実績を認められての東京都からの感謝状授与(昨年7月)、副賞として頂いた東京水辺ライン特別乗船券での隅田川遊覧の写真報告も併せて掲示させていただきました。



全国一斉水質調査(今年は6/1土曜日に実施しました。)

蔵敷公民館まつり

この写真は高木橋付近の採取中の一コマ(今年は水量が乏しく流速は計測できなかったデータは過去のものを含めて表で示します。)

# ”身近の水環境の全国一斉調査” 2009年～2013年の結果 (空堀川を考える会)

実施年	測定地点	調査日	時刻	天候	気温℃	水温℃	PH	BO <sub>5</sub> /ℓ	COD	NO <sub>2</sub> -N	NO <sub>4</sub> -N	溶解酸素 mg	所見
2009年	①東芝中橋下流	6月7日	10:40	晴れ	28.5	30.0	8.0	1317	15	0.5	0.20	118	この橋の上下流で管渠整備工事進行中。この橋の下流から空堀川最大の支流である工場排水が流入している。上流は、全く澄みきっていた。いつも、カワゴモコウジやセキレイなどがみられる。魚も多い。オイカワか?
	②高木橋下流	6月7日	10:55	晴れ	28.0	29.2	9.5	857	6	0.05	0.20	118	本所は既述工事として工事終了。この橋の上流迄管渠整備工事の各流。上流と本所は工事途中。コウジ・カワゴモはよびみられる。アオサギ・カワセミもみられる。釣り人が居た。
	③清水橋下流	6月7日	11:10	晴れ	30.0	30.7	8.5	920	6	0.05	0.20	118	いつもカワゴモ・コウジ・カワセミ・セキレイなどがみられる。依然として本所から汚水の流入がある。
2010年	①東芝中橋下流	6月6日	16:30	晴れ	29.5	30.2	7.5	900	8	0.2	1.00	82	本所で管渠工事(最終)の一部が終了。濁りが高い場所だ。雑草の多く倒木等の美しい景観の目的が確認されている。
	②高木橋下流	6月6日	15:50	晴れ	24.5	31.0	9.5	720	7	0.1	0.50	104	奈良橋川との合流点の付け替えと高木橋の付け替え工事が始まる。合流点は新水溜が作られている。合流点下流は、濁りになっており、釣り禁止の表示。
	③清水橋下流	6月6日	16:20	晴れ	25.0	30.2	9.5	720	7	0.05	0.20	111	本所から下水の流入があり、濁っているが、一向に改善の兆しがない。この日は流入は見られなかった。6月9日、7月6日のように濁る。
2011年	①東芝中橋下流	6月5日	15:23	曇り	26.0	30.5	7.0	1010	8	0.3	0.80	107	東芝中橋上流は決壊し、橋の下を流れる工場排水が流入。空堀川最大の支流となっている。橋の上流山王橋の管渠工事管渠整備工事が終了したが、排水処理は作られなかった。
	②高木橋下流	6月5日	15:46	曇り	27.0	25.5	8.0	750	6	0.3	0.16	120	奈良橋川との合流点付け替えと高木橋の付け替え工事で下流右岸の排水処理場が完成した。
	③清水橋下流	6月5日	16:13	曇り	25.0	25.0	9.0	780	6	0.15	0.16	118	右岸側から下水の流入があり、濁っているが、一向に改善の兆しがない。この日は流入はなかった。自然な流れの水が見られた。
2012年	①東芝中橋下流	6月3日	15:10	晴れ	29.5	30.2	7.5	900	8	0.2	1.00	82	本所で管渠工事(最終)の一部が終了。濁りが高い場所だ。雑草の多く倒木等の美しい景観の目的が確認されている。
	②高木橋下流	6月3日	15:40	晴れ	24.5	31.0	9.5	720	7	0.1	0.50	104	奈良橋川との合流点の付け替えと高木橋の付け替え工事が始まる。合流点は新水溜が作られている。合流点下流は、濁りになっており、釣り禁止の表示。
	③清水橋下流	6月3日	16:10	晴れ	25.0	30.2	9.5	720	7	0.05	0.20	111	本所から下水の流入があり、濁っているが、一向に改善の兆しがない。この日は流入は見られなかった。6月9日、7月6日のように濁る。
2013年	①東芝中橋下流	6月1日	14:36	晴れ	26.5	29.0	8.0	1250	6	0.3	0.16	117	東芝中橋上流は決壊し、橋の下を流れる最大の支流である工場排水が流入。橋から堀川を流れるもう幅が出ているが、釣り禁止は表示。この地点の下流側にはオイカワが多量に、コウジ、カワゴモも見られる。
	②高木橋下流	6月1日	15:00	晴れ	25.0	26.5	9.0	1240	4	0.06	0.20	115	奈良橋川との合流点付け替えの工事で、濁りが残っているが、全く澄みきっていない。本所は濁りはないが流入があるが濁り測定不能、やや下流の濁りに濁りのコウジが見られた。また、ブルゾン、フイが見事に観察をきっかけ。
	③清水橋下流	6月1日	15:30	晴れ	24.0	26.3	9.0	1530	6	0.03	0.20	115	この村部は河川が下がり、水溜の設置が困難。濁りは深んであり、濁り測定不能だが、オイカワが多く見られた。また、ダイオキシン、カワゴモ、コウジがよく見られる場所である。

## 土曜こども講座でヤゴ救出作戦

分部光春

5月25日南台小学校で土曜こども講座の子供達とプールのヤゴの救出作戦を行いました。

このミッションは当会(空堀川に清流を取り戻す会)の参画イベントとして例年行われています。当会より土曜こども講座のコーディネータとして北出さんが頑張っておられるため、理事長と私が臨時のアシスタントとして参加しました。

さて当日、十時よりプールに集合し作戦会議です。参加者は土曜こども講座の「自然と遊ぼう」のグループと、「水の不思議探検隊」のグループの合計20数名と父兄の方3名、そして北出さんをはじめとした3名のコーディネータの方々の30数名で始まり始まりました。

まずは、理事長お得意の紙芝居「ギンヤンマの一生」のお話で気分を盛り上げておいたところで、北出さんの作戦の目的(プールが始まると、当然、一度プールの水が抜かれてしまう。するとプールのヤゴが死んでしまうので、助けてあげようと言う博愛精神と、野生生物の観察そして狩猟民族本来の欲求を満たす為?)の説明と、段取りのお話があり作戦開始です。

網を持って水の抜かれて浅くなったプールの中へ。

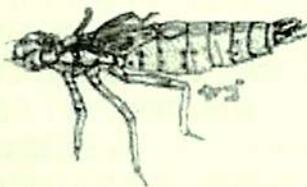
水の中は一年間のゴミやミズゴケが溜まりヌルヌルです。

さすがの悪ガキ達もビクビクです。そんな中でも女の子の方が元気、元気。やっぱり世の中、女性の時代なんですかね?

やっとなるなるにもなれ網が上手に使えるようになり、アチコチで(捕ったドー)さてさてどんなトンボのヤゴかな?...

しかし、ほとんどが背中にトゲのあるアキアカネのヤゴで、なかなか賞金首のヤンマ系やシオカラトンボ系は見つかりません、皆が世に言うところの赤とんぼのヤゴばかりです。

コーディネータの発案で皆で並んで一網打尽を狙ったりしましたが、なかなかヤゴはつかまりません。あんなこんなで子供達の気力もなくなりヤゴもいなくなり300匹位の救出で作戦終了。全てアキアカネ系のヤゴでした。ヤンマやシオカラはいなくなってしまったのかな?残念、残念、来年はヤゴ筏の設置などを考えてトンボの産卵を促すような、少子化対策を考えなくては!!



人間役で日本の少子化も解決できれば我々の年金も御安泰なんですがね。

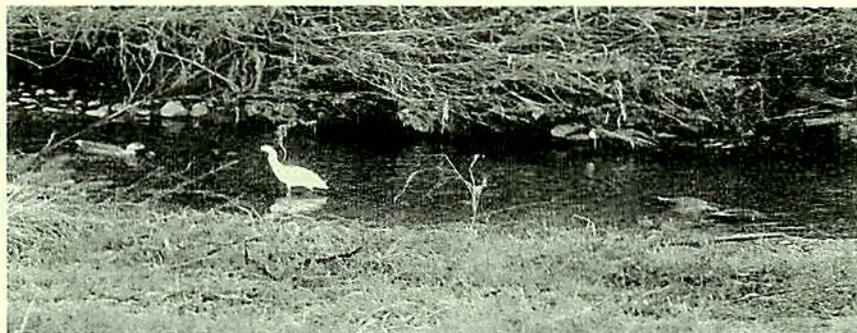
ミッションの最後はヤゴ達を学校の田圃に放流です、勿論 理事長の説明で羽化用の小枝をさす事も忘れません。

ヤゴ達が元気な赤とんぼになれますように。。

8月の末に行ってみたら元気な赤とんぼに会えるかも。

来年はもっと沢山のヤゴ達と色々な種類がいますように。

最後に子供達が揚げた泥の中の虫や蛙を食べにムクドリやサギ、カルガモまでが来襲、チョット野生の食物連鎖をお勉強、お勉強。で終わったヤゴ救出作戦でした。



## 第14回定期総会（平成24年度）開催

平成25年5月18日に第14回定期総会を開催した。会員総数35に対して出席者14名、委任状提出者16名により総会が成立し、議事録署名人2名、書紀、議長を選出して審議に入った。

審議事項は、第1号議案「平成24年度事業報告及び収支決算報告の承認を求める件」、第2号議案「平成24年度会計監査報告の承認を求める件」、第3号議案「平成25年度事業計画案及び収支予算案の承認を求める件」についてそれぞれ理事長、担当理事及び監事から報告があり承認された。

第4号議案「役員改選の件」につき理事長より、理事1名が退任し定款で定める最低限の5名になったので新たに3名を選任したい旨の提案があり承認された。3名はそれぞれの担当分野に責任をもち、会の運営を強化する体制が整った。(友保)

## 平成25年度事業計画

安岡 建依

5月18日(土)に開催された第14回定期総会において、平成25年度の事業計画が以下のように決まりました。

### I・実践活動

- ・「子どもの水辺の維持管理」：東京都北多磨北部建設事務所と取り交わした「覚書」に基づいて「子どもの水辺」の維持管理を行います。
- ・環境学習支援：「子どもの水辺協議会」と連携して「子どもの水辺」を活用した環境学習を行います。
- ・川まつりへの参加：当会が主体となって取り組み、5月26日(日)に実施しました。
- ・クリーンアップ作戦：春期は4月20日(土)に実施済み、秋期は11月に予定しています。
- ・水質・水量調査：「世界環境デー」の「身近な川の一斉調査」に参加します。
- ・放射線調査：河川内の放射線量を適宜、計測します。
- ・御成橋近辺及び東大和市の工事区間の環境整備を実現するように関係機関と協働します。
- ・「内野吉之助みどりの基金」を活用して空堀川流域の緑化活動を行います。

### II・調査活動

- ・子どもの水辺区間の水質・植生などの調査：「子どもの水辺」を中心にして、昆虫・鳥類・水棲生物・植生などの調査を行います。

### III・普及啓発活動

- ・会報の発行：会の活動報告を中心に1年間に4回発行し、会員及び公共施設への配布を行います。
- ・ホームページの管理：休止しているホームページを速やかに回復し、最新情報を発信します。
- ・会員の拡充：ポスター、ポストカード、DVDなどを用いて会員の拡充に努めます。

### IV・収益事業

- ・東村山市環境部との2件の契約を履行します。

これまでの経過と今後の予定

(2013/4/13~2013/10/12)

- ◎4/13 第178回定例会、がたろう通信  
第74号発行
- ◎4/18 第1回川まつり実行委員会
- ◎4/20 第3回空堀川クリーンアップ
- ◎4/26 川まつり、放射線量対策(北北建)
- ◎4/27 放射線量測定(からぼり広場ほ  
か)、鯉のぼり掲揚
- ◎4/30 会計監査
- ◎5/5 平成24年度第2回理事会
- ◎5/16 第2回川まつり実行委員会  
総会資料印刷
- ◎5/18 第14回定期総会及び第179回  
定例会、川まつり立て看板作  
製、掲示
- ◎5/24 フリマ線引き及び鯉のぼり掲揚
- ◎5/25 土曜子ども講座、ヤゴ救出作戦  
川まつり用魚の捕獲
- ◎5/26 第14回空堀川・川まつり
- ◎6/2 身近な川の一斉調査
- ◎6/3~7 春の広苑定例作業
- ◎6/7 川まつり事後打ち合わせ(市役所)
- ◎6/8 第180回定例会
- 6/14 川まつり反省会(実行委員会)
- 6/20 25年度第1回理事会
- 7/13 第181回定例会、がたろう  
通信第75号発行
- 7/23 東京の川シンポジウム
- 7/27 第19回空堀川クリーンアップ  
(東大和地区)
- 7月下旬 夏の広苑定例作業
- 8月は定例会休み
- 9/14 第182回定例会
- 10/12 第183回定例会、がたろう通信  
第76号発行、土曜子ども講座

## 会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



# からぼり川

がたろう通信

第 76 号

2013年 12月 14日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>(工事中)

空堀川ブログ・・・<http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 第33回 空堀川クリーンアップ

友保邦弘



第一会場 大量のゴミ

第二会場 受付風景

第二会場 集合写真

平成25年11月16日(土曜日)、第33回 空堀川クリーンアップを行いました。当日は快晴のもと従来通り東大和地区と東村山地区の同日開催でした。

毎回残念なことです、クリーンアップの立て看板を掲示すると決まっても不法投棄が多くなります。捨てておけば処理してくれるということを知っている不届き者の仕業です。そこで今回は最低限、ゴミ集積場4箇所に看板を設置しました。それでもやはりまとまったゴミの投棄が見られました。

従来ゴミの分別は燃えるゴミ、燃えないゴミ、粗大ゴミ、処理不能ゴミの4種類でしたが、秋水園でのリサイクル方法も進歩したので細かく分別するよりのゴミ減量推進課からの要請がありました。ある市会議員から「一般家庭には9種類の分別を義務付けているのだから、川のゴミも同様に扱うのが妥当ではないか」との指摘を受けて検討したとのこと。市の道路課と当会の3者で打ち合わせを行い、最終的に7種類に分別することになりました。(燃える、燃えない、ビン、カン、ペットボトル、粗大ゴミ、処理不能物)

第一会場は従来通り(上橋～西武新宿線)でしたが、第二会場は事前に上流部(西武新宿線～なかよし橋)を済ませておいたので(なかよし橋～大沼田橋)

(2)

に縮小しました。それぞれの結果は次の通りです。

第一会場：

参加者22名。今回は都の工事業者・今村組から4名が参加してくださいました。半年の間に川の中や近隣公園に投棄された大量のごみ（写真参照）の分別が大仕事でした。ゴミの詳細は：燃えるゴミ18、燃えないゴミ29、ビン1、カン2、ペットボトル5、自転車3、レンジ1、オープン1、鉄クズ50kg、傘6、自転車のタイヤ3など。前日に捨てられたゴミも多かった。（ペットボトルまでの数字は700の袋数）

第二会場：

参加者45名。燃えるゴミ21、燃えないゴミ27、ビン2、カン4、ペットボトル4、レンジ1、傘9、車のホイールキャップ2、自転車1、物干し竿2、金属板2など。

参加者67名の内、森永乳業グループからの参加者が約半数弱の29名で新任の工場長まで参加頂き、さらに従来通り自社製品の飲み物も寄付して頂きました。さすがに環境保全に貢献するCSRマネジメントのトップ企業です。高レベル処理した工場排水を河川維持水として空堀川に流して頂いているだけでなく、こうして河川環境の保全に尽力をして頂いているのです。

締めくくり作業であるゴミの回収は毎回市の道路課と北々建にお願いしております。ご協力を感謝します。

今回初の試みで、参加して頂いた皆様から「不法投棄撲滅」についてのご意見を頂きました。

「ダミーの防犯カメラ」「河川敷を歩けるように整備し常時人の目が届くようにする」「小学生からのマナー教育」「自治会などの団体に区間を割り当ててゴミGメンを配置する」などの提案を頂きました。有益なヒントがありますので参考にします。空堀川という宝物を大切に守ってゆく決意を新たにしました。

## 今年の空堀川整備問題をふりかえる

小倉安洋

今年をふりかえり天候に例えて一言で言うと「曇りのち雨」。東大和市内空堀川の整備問題が依然として大雨の中で頭を中心に重く沈んでいる状態です。昨年9月からスタートした「空堀川（下砂橋～東芝中橋）の整備に関する懇談会」（以下「懇談会」とする）は、深い議論もないまま僅か4回で今年の2月に終わってしまい、しかも今年も終わり間近な11月になってやっと「懇談会のまとめ」が懇談会委員に配布されるというあきれた対応。しかも、11月の流域連絡会において、突然工事日程を発表するというやり方に、順序が逆ではないかと指摘して、やっと

動いた結果でした。あいた口がふさがらない。納得がいくまで、説明責任を果たしてもらふ動きは続けなければならない。との思いを深めています。

改めて今年のこの問題に対する動きを整理・反省し新たなステップにしたいと思えます。

さて、懇談会は昨年3回行われましたが、第4回は今年に入っても開催の気配がなく不安が募りました。1月に行われた「川の日ワークショップ関東大会」で会った「NPO法人全国水環境交流会」の山道代表理事に事情を話した結果、ワークショップを開いたらどうかと背中を押され、3月30日の「空堀川「いい川づくり」意見交換会 in 東大和」(以下意見交換会とする)開催へとつながりました。当初は、参加を表明していた東京都北多摩北部建設事務所(以下北北建という)は、事が進むと言を左右して不参加となりましたが、東大和市は陰で尾崎市長の参加と開催場所の準備などご協力頂きました。この意見交換会では、山道氏をはじめ“いい川づくり”では著名な吉村伸一氏、国交省/国総研の中村圭吾主任研究官にも参加頂き、議論を深めることができました。全体的には圧倒的に現河川を埋めてしまう都の案に反対する意見が多く、私たちの考えが間違いでないことが確認できました。その後5月には、この意見交換会の報告会を開催しました。流域近くの市民に加え数名の市議にも参加頂き、ここでも都案への反対が明確になりました。しかし反対だけではことは進みません。具体的に対案を出す必要があります。専門家を交えた議論の必要を感じていた矢先、7月、東久留米から声がかかりました。これは「柳瀬川流域ネットワーク」会報に載せた拙文を読んでのものでした。東久留米でも同じく、北北建が提案する直線的な新河川に対し、蛇行する旧河川を残す活動をした経験から共感して、ぜひ話をしてくれないかとの誘いでした。これが縁で埼玉大の

田中規夫教授を紹介頂きました。10月には現地を視察願い、後日、「非常に複雑な河川ではありますが、せつかく確保した貯留能力を失うこと(調節池の川底をあげ本川とつないでいくこと)は、下流への負担を上げることにつながる事が懸念され、そうした負荷を少しでも低減するためには、旧川は本川の最大水位の範囲においてあふれないことを前提に、埋めないほうが遊水効果も期待され、適切であると考えられます。

ただし、詳細な図面や計算資料がないと遊水効果そのものは定量的には示せませんが、上手に計画すれば、様々なオプションがあるはずで、手元にデータがないので、あまり勝手なことはいえないのですが、本来は案をいくつか示して、その長所短所をしっかりと議論すべき案件であると感じました。」との

ご意見を頂きました。大きな励みとなりました。

しかし、これからが大事です。流域連絡会でも議論を進めると同時に、流域の市民や自治会などを巻き込んだ議論をすべきであり、その仕組みづくりを志向する必要があります。自己満足的な進め方では行政につけいる隙を突かれかねません。そんな危惧を持ちつつ、「百聞は一見に如かず」の深化バージョンの、「百考は一行に如かず」「百行は一効に如かず」とならない様しっかり反省し、新しい年を「快晴」で終われるよう頑張る覚悟です。ご支援をお願い致します。

## 秋の定例草刈り作業

垂水 荘司

夏が過ぎて秋が来る、例年ならば当たり前の事ですが、今年はなかなか秋がこなかった。しかし10月末の気候はさすがに秋の気配がしてきた。10月28日～10月31日の4日間は東村山市委託を受けた年2回の草刈り作業で、空堀川沿いの下堀広苑とふれあい公苑の除草と花壇の手入れを行った。その他7月から8月にかけて芝生のみの手入れをおこないます。この時期は酷暑で作業環境が著しく悪く8月9日、10日は36℃を超えていた。水を浴びるほど飲みながらの作業で、個人的にはこの時期は今後見直す必要を感じております。遊歩道は毎日朝は陽の上る前から、夜は外灯の明かりで散歩、犬の運動、ジョギング、通勤、通学、自転車等が行き交います。残念ながら缶、ビン、ペットボトル、ビニル袋等の投棄物があり、特に犬の糞の不始末は非常に困ったものです。上流のふれあい広苑、下流の下堀広苑とも広場と遊歩道で構成されております。広場は春には花見の会場、幼稚園等の運動会、夏はお祭りの会場として、日常は健康体操、ボール遊び、等幅広く利用されております。植物(特に雑草)の成育は早く、遊歩道は雑草で幅が狭くなり、利用者には不便をかけているのが実情でした、皆様は早く雑草を刈り取り広い遊歩道を望んでいたことと思いますが10月末の整備後は広くなった遊歩道を気持ちよさそうに利用されていた。作業中の留意点はまず通行人(第三者)に対する事故を無くす事、草刈り機から小石等が飛んで怪我をする場合があります、次に当事者の事故、健康管理です、勿論作業中の傷害保険には加入しておりますが、事故は絶対避けなければいけません。更に周囲の環境についても、桜の木の枝が枯れて「キノコ」が生えていた、枝の内部は腐食していて今にも落下しそうな状況の木があり、強制的に撤去し事故を未然に防ぐことができました。来年の定例草刈り作業も事故をおこさないことと、広苑を利用されている皆様方に気持ちよく利用して戴く様に頑張りたいと思います。

# 川のはなし

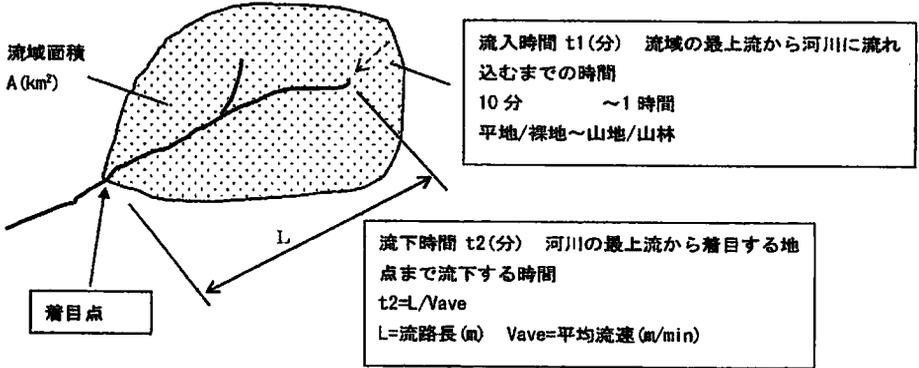
平田 健一

## 3. 川の流れの計算方法は？

### 3.1 簡易的な計算方法

実際の川は、断面・勾配が変化し、平面的に曲がりがありますが、真っ直ぐな川として解析している場合が多いです。簡単な場合は、手計算で計算できます。実際の川の流れの計算方法を説明しましょう。

#### (1) 流量の計算（計画高水量）の計算（概略方式）



$t = t_1 + t_2$  降雨継続時間が、流入時間と流下時間の合計となったときに最大値になる。

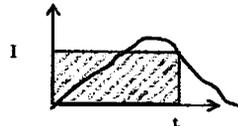
<前提>

降水は、 $I$  (mm/hr) という一定の降雨強度で、全流域に均一に降雨継続時間  $t$  (分) だけ降ると考える。(実際は、雨は時間的に一定ではなく、場所によっても強度が異なるが、単純化する) そうすると、 $t$  分後に、流量は最大値を取り、それ以降は雨がやむので、次第に減少する。

降雨強度式（よく使われるのは下記の Talbot 式）の例

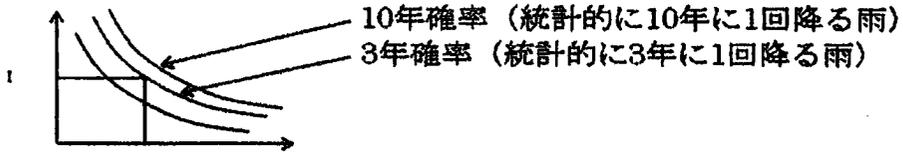
(東京都建設局 3年確率)

$$I = \frac{5000}{t+40} \quad (\text{mm/hr})$$



$t=60$  分の時、 $I=50$  (mm/hr) となる。これを一般に 時間 50mm の降雨強度と言っている。

(6)



流量  $Q$  流出係数  $C$  (0.1~0.9 完全な市街地では 0.9 通常 0.5~0.9 山地では 0.1 位)

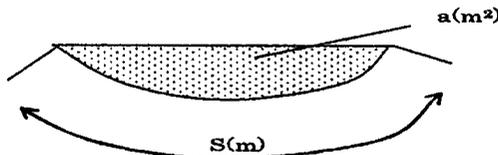
$$Q = \frac{1}{3.6} C \cdot I \cdot A \quad (\text{m}^3/\text{s})$$

流域面積 26.2km<sup>2</sup>, 流出係数 0.5, 降雨強度 30mm/hr (暫定改修時) とすると、  
空堀川 (柳瀬川合流点)  $Q = 1/360 \times 0.5 \times 30 \times 26.2 = 111.7 \text{ (m}^3/\text{s)}$

※柳瀬川流域河川整備計画(東京都)H18では、計画高水量  $Q_d$  は、50mm/h に対して 140m<sup>3</sup>/s, 30mm/h に対して 84m<sup>3</sup>/s となので、食違いがある。これは、土地の利用状況を考え、地域により流出係数を変えているものと考えられる。

## (2) 河川の流下能力の計算

河川の断面



流下能力は、川の断面、勾配が決まった場合に流せる最大流量を言う。この算定によく使われる Manning (マニング) 式では、平均流速  $V$  は、

$$V = \frac{1}{n} \times R^{2/3} \times i^{1/2} \quad \text{で求められる。}$$

$n$ : 粗度係数 (水が流れる面の荒さを示す係数 河川では 0.01~0.1 程度)

$R$ : 径深  $= a/S$  (m)  $a$ =河川断面積 (m<sup>2</sup>)  $S$ =潤辺 (m 河川断面が、水に触れる長さ)

$i$ =河川勾配

空堀川の暫定改修 (30mm/h) の断面 (右図参照)

断面積  $a = 1/2 \times (24 + 25.4) \times 1.4 = 34.58 \text{ (m}^2)$

潤辺  $S = 24 + 2 \times 1.565 = 27.13 \text{ (m)}$

径深  $R = 34.58 / 27.13 = 1.275 \text{ (m)}$

河川勾配  $i=1/230$  (230m 流れて 1m 下る) 粗度係数  $n=0.03$  : 10cm~20cm の玉石として

流速

$V=1/0.03 \times 1.275^{2/3} \times I^{1/2}=1/0.03 \times 1.176 \times \sqrt{0.004348}=1/0.03 \times 1.175 \times 0.06594 = 2.58 \text{ (m/s)}$  <3 (m/s) (通常、河床が洗掘されないため、この程度に抑える)

=154.8m/min=9,288m/時間=9.29km/時間 (空堀川の場合、流路長約 15km なので、約 1.6 時間程度で上流端から下流端まで流れてしまう)

河川の流下能力

$Qa=V \times a$  (平均流速に断面積を掛ける)

=2.58 × 34.58=89.2m<sup>3</sup>/s ≥ Qd=84 m<sup>3</sup>/s (計画高水量) OK

次回は、3.2 川の流れの解析方法とは? です。

## 八郎山作業

加藤 敏子

十年に一度の大きさの台風 26 号が、関東に接近又は上陸との予報で、最初予定されていた十月十六日の八郎山の作業が急遽前日の十五日に、「翌十七日に変更します」との連絡がありました。今年は、台風が多いなあという印象です。それよりも 例年は九月頃が十月にという、少しばかりきせつのずれも感じます。そしてこの原稿を書いている今日 (作業を終えた日の夜) も次の 27 号の発生を作業中仲間から知らされました。今回の台風のすさまじさは、伊豆大島で想像以上の被害をもたらしました。年々、自然災害が、局地的・急激・甚大となってきています。これも地球温暖化の影響なのでしょう。人間は、どんな工夫、努力をすれば被害が減らせるのでしょうか。壊すのは容易く、作るのは大変です。さて、今日の作業は 急の日程変更の為、いつものメンバーが揃わず、男性二人、女性三人の小人数でやりました。目標は、斜面の上の住宅地に接している所の笹刈りを約半分というものでした。九時半から十一時頃までに、大まかな仕上がりがでしたが、何とか目標に近づけました。作業の結果は、透明ビニールの大袋にぎゅうぎゅう詰めにして十一袋になりました。そのお陰で、空間が出来、歩けるようになり、見通しも良くなりました。作業途中、隣接のお宅から「へびがでましたから……」とのご注意を受けましたが、幸い五人の誰もへびに出会わずに済みました。作業終了後、用意して下さった暖かいお茶とチョコを頂きました。次回は、十一月二十七日という事で散会となりました。

これまでの経過と今後の予定

(2013/4/13～2013/12/14)

- ◎4/13 第178回定例会、がたろう通信  
第74号発行
- ◎4/18 第1回川まつり実行委員会
- ◎4/20 第32回空堀川クリーンアップ
- ◎4/26 川まつり、放射線量対策(北北建)
- ◎4/27 放射線量測定(からぼり広場ほ  
か)、鯉のぼり掲揚
- ◎4/30 会計監査
- ◎5/5 平成24年度第2回理事会
- ◎5/16 第2回川まつり実行委員会  
総会資料印刷
- ◎5/18 第15回定期総会及び第179回  
定例会、川まつり立て看板作  
製、掲示
- ◎5/24 フリマ線引き及び鯉のぼり掲揚
- ◎5/25 土曜子ども講座、ヤゴ救出作戦  
川まつり用魚の捕獲
- ◎5/26 第14回空堀川・川まつり
- ◎6/2 身近な川の一斉調査
- ◎6/3～7 春の広苑定例作業
- ◎6/7 川まつり事後打ち合わせ(市役所)
- ◎6/8 第180回定例会
- ◎6/14 川まつり反省会(実行委員会)
- ◎6/20 25年度第1回理事会
- ◎7/13 第181回定例会、がたろう  
通信第75号発行
- ◎7/23 東京の川シンポジウム
- ◎7/27 第19回空堀川クリーンアップ  
(東大和地区)
- ◎7月下旬 夏の広苑定例作業
- ◎8月は定例会休み
- ◎9/14 第182回定例会
- ◎10/12 第183回定例会、土曜子ども  
講座
- ◎12/14 第184回定例会、がたろう通信  
第76号発行

## 会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す  
会」では、会の活動を支援し参加してく  
ださる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお  
問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：

入会金 2000円、

年会費 2000円

団体・法人の場合：

入会金 一口 10000円

年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要)：

個人 年会費 2000円、

団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致しま  
す。

東村山市萩山町2-19-10

友保(ともやす)

TEL/FAX：042-394-9978



# からぼり川

がたろう通信

第 77 号

2014年4月12日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

発行責任者：友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## スッポンは超能力？！



### ワンドの補修・かいぼり・生き物調査

浄水橋の上手左岸にワンドがあります。北々建と共同で造成してから10年近くなります。増水時に魚などの生き物が流されないための逃げ場として作りました。もともと出来るだけ人為的な手を加えないという方針で維持してきましたが、周囲の植栽が荒れ、ワンドの底にもヘドロが堆積して浅くなっています。そこで3月15日、東村山3中の自然探究部と一緒に荒れたヨシを刈り取ったり、「かいぼり」を行って望ましい姿に整備しました。水の流入口を塞ぐために土嚢をつくり始めたら異変に気づいたらしく一匹のスッポンが音も無く本流に逃げ出しました。会員の一人が目敏く見つけて捕獲！ それにしてもスッポンの危険察知能力には恐れ入りました。

#### 主な作業

- ヨシの刈り取り（鎌、エンジントリマー）
- ワンドの底さらい（スコップ、ジョレン、揚水ポンプ、ウエーダー）
- 囲いのロープと杭の取り換え（次回に延期）

(2)

●生き物調査 (タモ網、フルイ、バケツ、水槽、観察・記録用具)

実施日時: 3月15日 (土曜日) 9時~12時

協力学校: 東村山市立第三中学 自然探検部 大石先生他部員4名

当会会員: 7名 気温13℃、水温11℃ 快晴



作業前ワンド



みんなガンバった

9:00 挨拶、自己紹介、イベントの説明

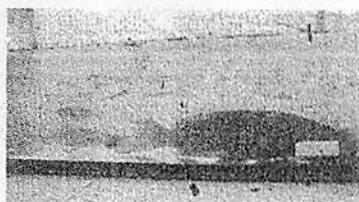
9:10 ワンド内と周囲の枯れヨシ撤去

10:00~ 排水、生きもの捕獲

11:00~ 生き物の集計と説明

11:30~ 近辺のゴミ拾いと後片づけ

12:00~ 解散



コイからメダカまで

#### 問題点と反省点

●排水の途中で大勢中に入ったためヘドロと水が混じってドロドロになって吸水ホースの入口にゴミとヘドロが溜まって水抜きが不十分だった。そのため小型の生きものが捕獲出来にくかった。

●大型のコイとミシシippイアカミミガメを処分せずに放流した。(適切な処分方法を考える必要がある)

●イベントの実施が急に決まったため生徒の参加者が少なかった。

生き物種類	数	生き物種類	数
メダカ	1	ヒキガエル	6
モツゴ(クチボソ)	2	アメリカザリガニ	3
フナ	6	ドジョウ	4
オイカワ	150	コイ	1
エビ類	15	ミシシippイアカミミガメ	1
スッポン	1		



## 私たちは空堀川をどの様にしたいのか！！

「柳瀬川・空堀川流域連絡会」という組織がある。この会の設置要綱に「流域の住民、両川に関心を持ち活動している団体、市及び都が河川に係わる情報や意見交換及び提案等を行うことを目的とする」と明記している。会は流域4市の都民委員、団体委員、行政委員および事務局で構成されており概ね月一回開催されている。

事務局（東京都北多摩北部建設事務所）は「会議で発表された意見や提言は参考意見としてとどめる」と断言しており、事業に反映させることは無いというスタンスである。これでは会の存在意義は無い。現状のままです工事が進行すれば空堀川は降雨時以外は全く水の無い川になってしまう懸念がある。「いい川づくり」を目指す市民としては公共事業や環境問題に強い法律事務所を味方にして提訴するという最終手段が考えられるが、出来得れば相互信頼のもとに合意点を見出して工事を推進する方向に持ってゆきたいものである。

以下に掲載する文書は4年前に関係各方面に開示した提言書である。都市河川を復活させるための新たなアプローチとして提言したものである。各方面の忌憚ないご意見を期待します。

### 提言

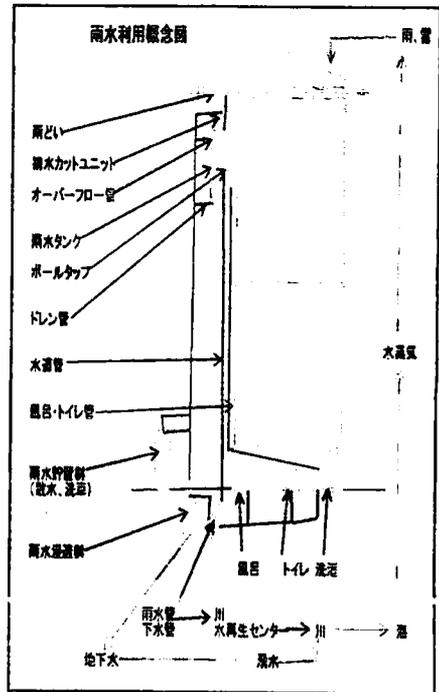
#### 「雨水利用システムによる水循環の構築」

3-25-2013 友保邦弘

NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」は長年にわたり「清流復活」を目指して様々な活動や提言を行ってきた。しかし残念ながら現在までその目標達成は遅々として進展していない。都市河川に共通の現象で「空堀川」は数日雨が降らなければカラカラになり、生き物は死滅する。しかるに一旦雨が降れば一気に増水・濁流と化す。集中豪雨ともなれば甚大な都市型水害の危険が高まる。これに対処するため河幅の拡張・直線化・遊水池の設置などに膨大な予算がつぎ込まれて工事が進んでいるが、年々頻発するとみられる予想をはるかに超えたゲリラ豪雨に見舞われた場合には大水害が発生することは明らかである。そこでこの緊急課題を解決するための「雨水利用システム」を「空堀川」に当てはめてその概要を以下に提言する。

(4)

設備の概略機能は次の通り。降った雨を雨水タンクに入れる。降り始めの汚れた水は「初水カットユニット」で除き、きれいな雨水が雨水タンクに入る。貯留した雨水は風呂、トイレ、洗濯に利用する。雨水が少なくなったら直結した水道水が補給される。余分な雨水はオーバーフロー管で雨水貯留樹へ、さらに余分は雨水浸透樹で地下に浸透させる。要するに降った雨がいきなり川に流れたすのではなくて、雨水タンクに貯留され、風呂、トイレ、洗濯に利用され、さらに余った水が散水や洗車に利用され、使いきれない部分が地下水となり一部が少しづつ川に流入することになるのである。河川への流出係数が大幅に減少し、地下水位の上昇で湧水の復活と相まって川の水が枯れることなく安定した維持水が期待出来るのである。



武蔵村山市、東大和市、東村山市、清瀬市を貫流する空堀川の左右両岸から各々500mの範囲に約72000の住宅がある。これらの住宅に上図の雨水利用システムを設置する(1世帯当たり総費用80万円)。10年計画とすれば1年に7200世帯に設置することになる。総額は年間58億円となり都が10億、国が14億を負担するものとし、4市の年度予算の3%をこの事業に充当し、個人負担を10%(8万円)とすれば市民と行政が応分の負担で実現の可能性が高い公共事業となる。

この事業を推進することによるメリットと波及効果を要約すれば下記の通りとなる。

- 都市型洪水の減少・・人命と財産の保護・保全・・税金の無駄遣いの減少
- 水道水の節約・・上下水道のスリム化と水の節約・・ダムなど不要不急の事業廃止
- 地下水の涵養・・湧水の促進・・・・生物多様性と河川景観の回復
- インフラの整備・拡充・・設置とメンテによる雇用増大・・・・失業率の低下・社会不安の解消
- 公共事業の質の転換・・大規模開発の見直し・・・税金の有効利用

ここに提言したシステムは技術的に困難な点は皆無であり、その気になれば明日からでも取りかかれる事業である。個人住宅にとどまらず、公共施設、工場・事業所、集合住宅等にも対応すればさらに大きな成果が得られる。数字的なデータは概算値や推定値であるので専門家の精密な試算が必要であるが、この事業による効果は想像以上に多大であると確信する。

「水」という貴重な資源を有効活用することは環境立国を目指す日本の責務でもある。

この提言を国や自治体、その他関係する分野の方々に具現化して頂くことを強く祈念するものである。

### 馬頭橋付近の小彼岸桜を剪定しました 友保

今から4年前、「空堀川子どもの水辺」の最上流端・馬頭橋の右岸に小彼岸桜を21本植栽しました。苗木提供は「東村山小彼岸桜の会」です。3年生の苗木でしたので今年で丁度7歳です。幹回りが約5cm、高さ3m程度に成長しました。2月2日に植えてから二回目の整枝・剪定を行いました。小彼岸桜の樹形は立木性で横への広がりが少ないため街路樹や狭い場所への植栽に適しています。

当日は快晴の天気恵まれ、小彼岸桜の会6名と当会より3名の計9名で午前中に手入れが完了しました。2年後には背丈を低めに抑えるための「芯止め剪定」を行い、以後は込み過ぎた枝や枯れ枝抜くなど街路樹の基本的な手入れに移行する予定です。ソメイヨシノより少し早めに開花するのでこの会報が発行される頃には葉桜になっているでしょう。



編集者・・・友保さん、ちょっと待って下さい！！

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」などと言われていますが、桜を切っても大丈夫なんでしょうか？

・・・大丈夫です。樹齢30年程度以上の大木の場合、大きな枝をきるのは木の寿命を縮めることがあります。今回のような若木は多少強めの剪定でも切り口は癒合して枝枯れすることは少ないです。桜などの落葉樹は11月～2月ごろの休眠期に剪定すれば木への負担が少ないのです。余談ですが「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿、どちらも切れぬ大間抜け」という俚諺もあります。

## 川のはなし

平田 健一

### 3.2 川の流れの計算方法は？（続き）

水理学は、水の流を研究する学問です。

計算の方法としては、1次元解析・2次元解析・3次元解析、定常流解析・非定常流解析などがあります。流れの状態で解析の方法が変わります。これを説明します。

#### (1) 解析の次元

1次元解析：水が一方方向に流れる場合。全く同一断面で、同一勾配・直線の場合に使用します。

2次元解析：同一断面で勾配が変わったり、平面的に曲がりのある場合に使用します。

3次元解析：断面・勾配・平面的に曲がりのある場合に使用します。

実際の川は、断面・勾配が変わり、平面的にも曲がりがあります。本来3次元解析をすべきですが、コストや時間の関係で1次元又は2次元解析で代用していることが多いです。簡単な1次元解析は手計算でも可能ですが、2次元解析以降はコンピュータを使って解析します。大きな屈曲部・合流点などは、それでは誤差が大きいので、3次元解析を行います。それでも難しい場合は、模型を作って流れの状態を観察・計測します。

#### (2) 定常流・非定常流

定常流解析は、時間的に変化がない場合に使います。非定常流解析は、時間的に川の流れが変わる場合に使います。本来、雨の降り方は一定ではないので、流れも時間的に変化しますが、通常定常解析で代用することが多いです。

#### (3) 等流・不等流

等流は、場所により流速・水深が変わらない流れです。断面形状・勾配が一定の場合です。不等流は、それが変わる流れです。

#### (4) 常流・射流

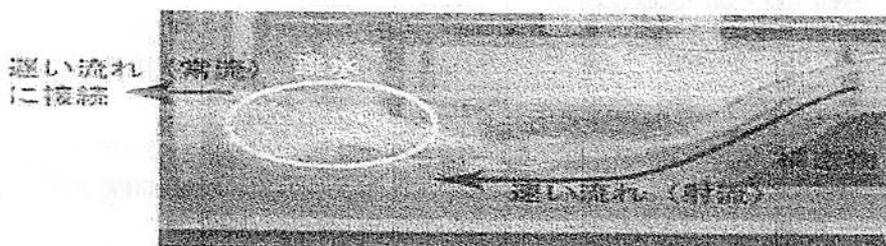
簡単に言うと、常流は緩い流れです。射流は、早い流れです。

常流は、考えている地点の水位・流速が下流の水位に影響される流れです。通常の川は、常流です。一番下流である海面の高さから、その上流の水面が決まります。ですから、川の下流部は海の潮位によって川の水位が変わっていきます。このような河川を、感潮河川といいます。隅田川などの河口付近が、雨が降っていないのに、時間により水位が変わっていくのは、これが理由です。

更に上流の水位は、下流から順次決まっています。通常、このように下流から計算して行きます。

射流は、簡単に言うと勾配がきつい流れで、下流の水位によって考えている地点の流れ方が影響されません。端的な例は、滝・堰・落差工を考えていただくと分かります。滝の場合は、下流の水位が変わっても、上流側の水位が変わらなければ、滝の流れる形は変わりません。

射流で流れてきた流れも、勾配が緩くなると常流に変わります。ここで、跳水（ちょうすい）という現象が起こります。射流の部分は、非常に早い流れなので水深は浅いですが、常流になると水深が深くなります。そこで、その境目で水が上に飛び上がるようになるので、それが跳水です。ダムの下流には、一般的にプールの様な部分があります。これを減勢工（げんせいこう）といいます。ダムから放流する時には、ここで跳水現象が見られます。



#### (5) 屈曲部、直線部

屈曲部は、曲がっている流れです。曲がっている流れは、曲がりの外側に遠心力が働くので曲がりの外側の水面が高くなります。バケツに水を入れ、指で水を回すと外側が高くなります。これと同じです。

直線部は、真っ直ぐな流れです。曲がりの半径が大きい場合は近似的に直線とみなせます。大きく蛇行している川の場合は、屈曲部として解析すべきです。屈曲が激しい場合は、理論的には外側の護岸を内側より少し高くする必要があります。

#### (6) 乱流・整流

乱れた流れと整った流れです。

乱流になると、場所により流速が異なり、渦を巻いたりして、護岸や川底を痛めたり、一部の流れが護岸にぶつかりこれを越えることがあります。川では、できるだけ乱流にならないようにします。整流は、一様に流れる流れです。

浄水場などでは、流入部が乱流になりやすいので、整流板（穴が開いた板のこと。バツフルと呼ばれる。）などで乱流を整流にします。

これまでの経過と今後の予定  
(2013/12/04~2014/06/14)

- ◎12/ 4 柳瀬川・空堀川流域連絡会
- ◎12/14 第185回定例会、忘年会、がたろう通信第76号発行
- ◎ 1/11 第186回定例会
- ◎ 1/25 かっぱの会 会報100号 記念パーティ
- ◎ 2/ 8 大雪のため定例会を中止
- ◎ 2/19 河川敷樹木剪定の立ち合い
- ◎ 2/22 小彼岸桜の剪定 (馬頭橋)
- ◎ 2/23 25年度第2回理事会 (中央公民館)
- ◎ 3/5 柳瀬川・空堀川流域連絡会
- ◎ 3/8 第187回定例会、堆肥場の整備・生垣剪定
- 3/15 ワンドの整備・かいぼり、生きもの調査
- 3/29 八郎山の手入れ
- 4/12 26年度第1回理事会、第188回定例会、がたろう通信第77号発行
- 4月 第1回川まつり実行委員会
- 4/26 第34回空堀川クリーンアップ
- 5/10 第15回定期総会、第189回定例会
- 5月 第2回川まつり実行委員会
- 5月 鯉のぼり取り付け
- 5/25 第16回 空堀川・川まつり
- 5月 ヤゴ救出作戦 (南台小学校)
- 6/1 身近な川の一斉調査
- 6月 土曜子ども講座 (空堀川ガサガサ体験)
- 6月 下堀・ふれあい広苑定例作業
- 6/14 第190回定例会、がたろう通信第78号発行

**会 員 募 集**

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 0013-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

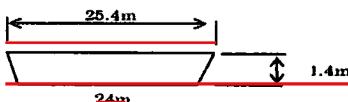
友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

**※ がたろう通信第76号の訂正**

川のはなし ※前回(3.1)の訂正

前回の原稿で、空堀川の暫定改修(30mm/h 対応)の断面図が抜けておりました。申し訳ありません。



# からぼり川

がたろう通信

第 78 号

2014年7月12日  
発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ:<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 第16回 空堀川・川まつり開催



恒例の「空堀川・川まつり」は16回の開催となり2014年5月25日天気予報により安心して開催に至りました。これだけで80%成功し多くの市民が川に親しみ、空堀川を中心とした河川環境に対するこしの一助になった事と思います。

当会が主幹事業体とした開催は6年目を迎え、友保理事長の主導でスタート、2度の実行委員会を開催し、まつりの開催運営に至りました。実行委員には地域の4自治体東村山市役所、空堀川に清流を取り戻す会の7団体15名、事務局には東京都北多摩北部建設事務所と東村山市の10名の職員が任命されました。

午前10時「鯉のぼり」が舞う晴天のもとで、友保実行委員長の挨拶に始まり、東京都北多摩北部建設事務所所長、東村山市市長挨拶、その後衆議院議員、



東京都議会議員、東村山市議会議員、東村山市市議会議長等各列席者の紹介が行なわれました。

川まつりには模擬店13店舗、フリーマーケット40店、催し物として・金魚すくい、カモレース、魚の放流、稲荷雛子、阿波踊り、カヌー、丸太切り、竹細工、和太鼓、ヨーヨー、草笛等。各委員はこれらの運営の役割分担とテント設営(9張)、片付け、展示ブース等の備品および配置設定を行ないました。そのほか前日にはフリーマーケットの線引き(今回は以前より1,5倍の2m×3mとし好評でした)、及び鯉のぼり約60匹を揚げまつりの会場づくりを行いました。皆様の努力で約2,500人の来場者で賑わいました。



5月1日の市報掲載でフリーマーケットの募集と鯉のぼりの寄贈依頼から始まり、チラシ5000枚(朝日、読売、東京、毎日)各販売店に折り込み依頼し、事前にポスター配布及び立て看板作成設置を行いました。

今回のまつりの関心事は、空堀川改修工事に伴い水量確保が危ぶまれている事です。空堀川上流の東大和市 東芝中橋～下砂橋は都の河川改修工事に伴い、現空堀川を埋め下流の東村山市まで水が流れなくなる事です。現状でも少ない水量ですが、雨の時以外はほとんど水が流れなくなると考えられています、また周辺の環境も現状では魚(オイカワ、モツゴ等)、鳥(カルガモ、コサギ、カワセミ、ア



オサギ)等が多く生息していますが生物の住める環境ではなくなります。同時に水のない川では川まつりが出来なくなる恐れがあります。来年以降が心配です。そのような危機感から東村山市市長挨拶の際に水量確保を強調して戴くよう市長に事前説明に伺いました。市長の挨拶で都の関係者にはどれだけ聞き入れて貰えたでしょうか?大いなる決断をお願いしたいものです。来年も第17回空堀川・川まつりが開催されますよう、東京都、東村山市、周辺住民の方々のご協力を願う次第です。

会の運営に欠かせ無かったのがボランティアの存在です、東村山3中生、東村山7中生、桜花学園の生徒約50名、役割分担としてゴミの集積、金魚すくい、カヌーの補助、カモレースの受付及び商品配布、ヨーヨー等それぞれのイベントに積極的に参加していただき本当に有難うございました。終始好天に恵まれ会場の準備作業、イベントのスケジュールも順調に進行し、午後3時には東村山市道路管理課長のメの挨拶で川まつりは終えられました。一日を通して無事故であった事と、他に何のトラブルも無かった事で「川まつり」は大成功でした。来年はもっと川にまつわるイベントが加われば更に盛り上げられるでしょう。関係者のご協力に感謝を申し上げたいと思います。

## 好天のもと春のクリーンアップ開催

岡田一郎



34回クリーンアップ(第一会場)は4月26日(土)9時からぼり広場に集合して行われました。新緑時のクリーンアップ活動に相応しい雲ひとつない好天に恵まれ、8時過ぎには諸準備のために会員の片岡、平田、神山、岡田がからぼり広場に集合しました。登り旗の掲揚はじめ受付設置等の準備を念入りに行い、8時30分には早くも昨年同様一番乗りの本町居住の市民参加者が来場されました。

定刻9時に岡田が開会の挨拶を行い、一週間前に行った放射能測定的安全性を紹介、併せて当日の活動要領を、また最終的にはごみ分別を7種類に分類徹底することを強調し、11時20分には全員で美住町公園入り口前での集荷ゴミの分別作業を行うことの協力を要請しました。

常連の市民の参加者が17名、森永関係者が12名、会員4名の計33名の活動になり、幼児連れの家族の方も4組ありました。



参加者をからぼり広場中心に上流部は会員の神山、片岡の両氏を、下流部は平田さん主導の2組に分けて、また岡田とともに粗大ごみおよび処理困難物の対応に機動力のあるリヤカーを利用しての搬送処理と各拠点の集積物搬送支援役に携わっていただく森永乳業社の若手2名を推薦いただき、作業途中の10時過ぎには最終集積所に分別7種類の明示コーナー設けました。

早くも夏日が訪れた如き日差しの中、森永乳業様提供のジュース配布時には参加者から心地よい汗をかいたとの嬉しい声が多く聞かれました。名物のすいとん入り豚汁は今年も100人前用意いただき、幼児連れの家族参加組には早や目の11時過ぎに食する案内を神山さんをお願いしました。

予定通りの時間に最終集積所に集められた収集物を参加者全員で7種分別作業を行いました。煙草の吸殻に至るまで念入りに分別活動を行い、この分別活動風景を森永乳業の菅原様がカメラに収めているのが印象的でした。分別成果物を背景に集合記念撮影を行った後、美住町会館で先の家族組に合流して名物のすいとん入り豚汁をご馳走になりました。



クリーンアップ終了を待っていたかの如く正午過ぎには、からぼり広場右岸では幼児を伴った数家族仲間がバーベキュー料理パーティを始め、「乾杯！」を唱和していました。

美住町公園入り口前に収集ゴミ成果物は以下の通りでした。

- ① 空き缶3袋、②ペットボトル4袋、③空き瓶1/2袋、
- ④ 燃えるごみ約14袋、⑤燃えないごみ約21袋、
- ⑤ 粗大ごみ類等は、ガスレンジ1ヶ、スーツケース大1ヶ、ゴザ大1ヶ  
自動車ホイール1ヶ、いしろう衣装ケース3ヶ、鉄くず約20Kg、  
破損傘4本、ほかにガラス・陶器食器などで、

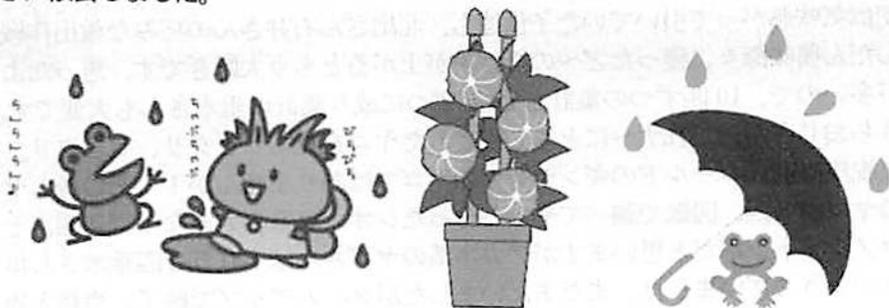
2トン積載量の市役所回収車2台が荷台一杯になる量の収集物でした。(昨秋は3台分でしたので、量は激減しました。)

なお、第二会場は本町都営住宅自治会から参加の4名始め一般市民の方が22名、森永乳業社から19名、会員11名の52名が参加者しました。今回の活動を契機に入会希望者が一人おられましたのは大きな成果でもありました。第二会場の収集成果を以下の通りでした。

- ①燃やせるゴミ 18袋、
- ②燃やせないゴミ 15袋、
- ③ビン 4袋、④カン 6袋、
- ⑤ペットボトル 6袋、
- ⑥粗大ゴミ、自転車の車輪 1、  
看板(鉄板製・・もく枠) 1、  
プラスチック製波板(600×1、800)  
1枚、処理困難物—ゴムマット(300  
角)10枚、ホースリール(ホース付)  
1個、スチール缶200φ1缶、  
バイクエンジン 1個、その他鉄くず  
など1袋でした。



健康的な汗を流し、また負傷することもなく無事故で、分別を徹底した34回のクリーンアップ活動を終え、次回の参加をお願いして両会場とも13時過ぎに散会しました。



## ヤゴさんのお母さんは何メートル泳げるかな？

(南台小学校、プールのヤゴ救出作戦)



ヤゴさんのお兄さんは100メートル泳げます。お姉さんは50メートル泳げます。それではお母さんは何メートル泳げるかな？とチョット意地悪なクイズから始まった、26年度の南台小学校ヤゴ救出作戦が5月22日南台小学校で3年生70名、先生3名、そして垂水さん北出さん石井さんと私の4名の当会会員の参加で晴天のもと行われました。当日は紙芝居でおなじみの友保理事長が所用にて参加できないとの事で徹夜でペットボトルのヤゴ飼育セット作ったり、作戦計画の立案で大変でしたが、集合した垂水さん北出さん石井さんのやる気の入った姿に感激、感激。しかし中々児童が現れません、当節水に入るのも準備が大変との事で20分遅れで開始です。大きな声で挨拶からですが、今一テンションが上がりません、昔の子供の方がテンション、マックスです。キッチリ集計の垂水さん、子供あしらい上手な北出さん、カールおじさんスタイルの石井さんのスタッフ紹介と注意事項の説明、そして意地悪クイズでヤゴとトンボの関係のお勉強、本日メインイベントの大物賞の景品(苦心作、飼育セット)発表で、多少テンションアップで始まり始まりです。

最初は気味悪がって引いていた子供達も、北出さん石井さんの巧みな救出作戦にだんだん興味深々、獲ったど〜の掛け声が上がるともう大騒ぎです。思ったより数が多いので、10匹ずつの集計も20匹ずつに成り集計の垂水さんも大変です。そのうちおじさん、これナ〜にと差し出されたヤゴを見てビックリ、ビックリ。なんと脱皮直後のゴールドのギンヤンマのヤゴではありませんか!! その後もヤンマのヤゴが8匹、図鑑で調べてやっと分ったシオカラ系の大きなヤゴ4匹、そしてコノシメトンボだと思いましたがアカネ系のヤゴさんは1050匹垂水さん集計ありがとうございました。まだまだいりましたがタイムアップで終了。当然大物

賞はゴールドのギンヤンマのヤゴに決定。でもヤンマとシオカラのヤゴさんは貴重なので空堀川に放流、説得するのが大変でしたがお持ち帰り用のヤゴと、実験用の田圃に半分そして後の半分は、川まつりに子供たちも参加して、放流する事が出来ました。この作戦で、多くのヤゴを救出出来た事、川まつりと連動出来た事、最後の子供たちのキラキラした姿、そして参加できた4名の会員のハツラツとした姿、やっぱり当川の会の会員さんは水に関するイベントが大変お好きなようでした。良かった事が一杯ありましたが参加された皆さんご苦労様でした。来年も頑張りましょう。



( 報告は孫が出来たら一緒にヤゴ救出作戦をやりたい分部でした。 )

## 河川敷の草刈り

友保

空堀川の河川敷は草の生え方などによって毎年1回から2回程度草刈りを行っている。

今年も例年通り北々建、業者および当会の3者で5月28日に事前立ち合いを

行った。河川敷の草刈りの基本仕様は以下の通り：

- 水際から1mは刈らない(但しオオブタクサなど花粉症お原因植物は除去する)魚や水棲生物、鳥などの隠れ家を確保し、護岸の洗掘を予防するため。
- 在来種(貴重種)の群落は残す(ススキ、オギ、ヨシ、ヨモギ、蔓ものなど)
- 在来種(貴重種)の単独ものは残す(アキカラマツ、ヒメコウゾ、ヒトツバハギなど)

対象範囲は最下流の大沼田橋から上流は上橋の間で、今年は4業者が担当する。この草刈り方式は「空堀川仕様」ということで多くの都市河川に適応されつつある。(写真はアキカラマツ。キンボウゲ科の多年草で絶滅危惧種)



これまでの経過と今後の予定

(2014/03/05~2014/10/11)

- ◎ 3/5 柳瀬川・空堀川流域連絡会
- ◎ 3/15 ワンドの整備・かいぼり、生きもの調査
- ◎ 3/29 八郎山の手入れ
- ◎ 4/12 26年度第1回理事会、第188回定例会、がたろう通信第77号発行
- ◎ 4/17 第1回川まつり実行委員会
- ◎ 4/26 第34回空堀川クリーンアップ 鯉のぼり掲揚、会計監査
- ◎ 5/6 鯉のぼり取り外し
- ◎ 5/10 15回定期総会、第189回定例会
- ◎ 5/13 第2回川まつり実行委員会
- ◎ 5/15 川まつり立て看板作り
- ◎ 5/21 鯉のぼり掲揚
- ◎ 5/22 ヤゴ救出作戦 (南台小学校)
- ◎ 5/24 フリマ線引き
- ◎ 5/25 第16回 空堀川・川まつり
- ◎ 5/28 河川敷草刈り立ち合い
- ◎ 5/31 空堀川貴重種目印の取り付け
- ◎ 6/1 身近な川の一斉調査説明会
- ◎ 6/2~4 下堀・ふれあい広苑定例作業
- ◎ 6/6 川まつり反省会
- ◎ 6/9 身近な川の一斉調査
- ◎ 6/14 第190回定例会
- ◎ 7/12 第2回「いい川づくりといい街づくり意見交換会、第191回定例会および反省会
- 7月 がたろう通信第78号発行
- 7月 夏の広苑定例作業 (芝生手入れのみ)
- 8月は定例会休み
- 9/13 第192回定例会
- 10/11 第193回定例会、がたろう通信第79号発行

## 会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 0013-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

編集後記

今年の梅雨は、しとしと雨ではなく大雨になっています。空堀川は川幅一杯に流れていました。怖いような早さで流れていました。もっと、小分けに降ってくれればいいのになあ。

# からぼり川

がたろう通信

第 79 号

2014 年 10 月 11 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

水をクダサイ! 友保邦弘



7-11-2011 野口橋上流



9-21-2014 野口橋上流

写真は府中街道の野口橋から上流を見たものです。3年前は豊かな水の流れて子ども達が魚を捕って遊んでいます。現在はご覧の通りカラカラで魚も鳥も「川ガキ」も見当たりません。全くの水無し川です。いずれも10日間以上雨が降ってない時に撮影したものです。

水量が減った原因は単純なものではありません。考えられることは、地下水位の変動、雨の降り方、下水道の普及、農地や林地の減少などが指摘されています。しかしながらこれらは3年の間に急激に変動したものではありません。最も大きな要因はやはり河川改修工事の進行によるものと考えられています。現にここ数カ月は極端に水量が減っています。工事の手順の都合で旧河川の水を一時的に新しく造った川に流しているため地下浸透が激しいためです。

現状のままで河川改修工事が進行すれば空堀川は文字通りの「空堀」になってしまいます。このままでは16年続いている「空堀川・川まつり」の開催も危ぶまれます。

空堀川に清流を取り戻すためには多くの市民が川に関心を持ち、絶え間なく水の流れる川にして欲しいと粘り強く意思表示することです。水量確保を目指して市議会に請願を出しました。現在継続審議中です。工事の主体である東京都北多摩北部建設事務所長と都知事宛の署名活動も展開中です。どうか多くの市民の皆様にご協力をお願いします。

(詳しくは <http://karabori.exblog.jp/>)

### 【特別寄稿】

## 東大和の空堀川整備を憂い、涸れない川の実現を望む

小倉安洋

現河川を埋めないで親水公園または親水緑道として残して欲しいという陳情を東大和市議会に提出したのは、平成19年と21年でした。全会一致で採択され、議長名で都知事あてに意見書が発出されました。しかし、その願いは果たされそうにありません。一昨年9月に設置された懇談会においても、議論も深まらず合意もないまま、昨年の2月にかけてわずか4回で終了してしまいました。今行われている工事も、十分な説明がなされておりません。柳瀬川空堀川流域連絡会においても、十分な議論がないまま発注され施工されております。現河川の殆どを埋め立ててしまうというのです。

そもそも東大和市の諸計画の中では、現空堀川の親水公園化がうたわれており、東京都に要請していくことになっているのです。私たちは、感情的に一部の市民の願いだけで言っているものではありません。先人が時間をかけて作成してきた「東大和市緑の基本計画」「東大和市都市マスタープラン」「東大和市環境基本計画」などの諸計画にこのことが示されているのです。

現河川が埋め立てられ新河川にただでさえ乏しく大事に大事にしたい水が流された場合、水涸れの懸念を抱かざるを得ません。容易に地下に浸透してしまったり、蒸発する可能性が高いのです。一部に粘土張りを行っていますが、果たしてこれで十分なのか疑問です。整備が終了した東村山市内では、年々、水涸れの状態が悪化し全く水のない箇所が増えております。何らかの対策を早急に講ずべきと訴えています。いずれ雨量50mm/hの整備をしなければならぬので、その際に行いたいとの回答であり、残念ながら現状を改善する積極性はみられません。流域4市も、空堀川の現状を認識しているにもかかわらず、管理は都であるとして、縦割り行政の壁を破ろうとの意欲はみられません。

かつての空堀川やその流域はどうであったでしょうか、それは市街化率の変遷図を見れば想像がつかます。昭和30年19%、平成14年76%であり、現在は80%を超えているでしょう。市街化が流域保水力の低下、流量減少の原因になっていることは明らかです。

問題を把握し、流域マスタープラン・アクションプランを作りながら、殆ど実施されていないことが問題なのです。その上、整備の基本的な考え方が間違っているのです。もちろん、治水は大事ですが、川を考える時、川の機能を総合的に考える必要があります。基本は「健全な水循環」でなければなりません。現在、空堀川で行われている整備は、治水第一で川の貯留機能・流水確保など「健全な水循環」の考え方が乏しい点に問題があるのです。洪水時の瞬間的なピーク水位対策偏重、総合的ではなく要素的・部分的な川づくりになっている点が問題なのです。即ち、極めて直線的・単純・単一ないわゆる定規断面（定規で線を引いたような形状）であり、流速を速める川づくりです。川幅に変化がなく、河床の断面が平坦で浅瀬や深みの変化がないことです。これは、河川整備は都の河川部が担当し、流域は各市が担当するという縦割り行政の弊害の現れであるとも言えます。飲み水は水道局、下水は下水道局、環境・地下水は環境局、農業用水は労働産業局といった具合です。これでは総合的な視点での健全な水循環は実現できません。

7月1日、「水循環基本法」と「雨水利用推進法」が施行されました。特に前者は「水の憲法」とも言われる大事な法律です。河川法、水道法、下水道法など50程もある関連個別法の上にあり、行政の縦割りを排して総合的に健全な水循環を目指すものです。この水循環基本法の下で河川法など個別法が改正されることとなります。今年度中に作成される水循環基本計画とそのフォローアップに注目し、この理念を先取りしたいと念じます。川が持つ恵みと脅威、本来の機能に思いを致し、健全な水循環が果たされるよう「いい川づくり（多自然川づくり）」を粘り強く進めたいと強く願っています。



## 【特別寄稿】

## 私 と 川

平田 健一

私は、東京で育ちましたが、小学校のころ毎年父の実家である岡山（現在の赤磐市）に行き、夏は家の裏にある

“にのどの池”という溜池で一日中釣りをしていました。とても楽しかったです。おばあちゃんと裏山に行き、竹を切って竿を作りました。裏山の沢には、サワガニがいました。その池に出入する川には、



ホタルが住んでいて、夜とてもきれいでした。多分、ヘイケボタルだと思います。瀬戸内地方は雨が少なく、各所に溜池があつてそれで田んぼに灌漑していました。また、冬に行くと部落の人が集まって、溜池のヘドロを揚げ、水が漏れないように底に粘土を貼っていました。後で聞くと“にのど”は、本当は“仁王堂”で備前国分尼寺の跡だったのだそうです。右上の写真です。また、この辺りは、前方後円墳・円墳などやたらに古墳があり、当時の備前の中心でした。

小学校の高学年は、三鷹市の牟礼と言うところに住んでいました。近くに玉川上水がとうとう流れていて、僕たちは大人から絶対に近寄ったらいけないと言われていました。落ちたら助からないということでした。その頃、バイクに乗った人が玉川上水に掛かる橋の欄干に衝突して玉川上水に落ち、淀橋浄水場（現在の西新宿のビル街にありました。）まで流されて死んだと聞きました。その後、その橋に「土左衛門橋」と落書きされました。しかし、カーブの内側の流れが緩い場所では、大人が泳いでいるのを見かけたことはありました。命綱を付けてそれを別の人が持っていました。それくらい、玉川上水の流れが早かったのです。

近くに井の頭公園があつたので、日曜日にはボート池でボートを漕ぐのが楽しみでした。江戸時代に将軍がこの湧水でお茶を飲んだとの伝説があり、今でも次ページ右上の写真の「お茶の水」と呼ばれる場所があります。四角に石で囲われた場所から、当時は水が湧いていました。

神田川（神田上水）の水源です。今は、水が枯れてしまい、深井戸からポンプアップしています。

そのころから富栄養化が始まっていたのか？オオカナダモという外来の藻が大繁殖して、ボートが行けない場所が増え、公園を管理する人がその藻を刈り取っていたのを覚えています。また、藻を食べさせようと、中国から草魚を入れたと聞きました。



いまだったら、外来種ということで問題になりそうですね。

中学で石神井に引っ越し、近くに石神井公園がありました。ここは、三宝寺池（南に三宝寺という15世紀にできたお寺があります）とボート池があります。その頃は、三宝寺池から水が沢山湧いていて、それがボート池に流れ、石神井川の水源の一つになっていました。三宝寺池の真ん中には右のような島があって、風で位置を変えていました。これは、浮島で、あし等の植物が土のようになって、上に植物が茂り、その根が切れてできたものだと中学の理科の先生に聞きました。今は、池の底にくっついて動くことはないそうです。当時は、石神井川も暴れ川で、しょっちゅう

溢れていました。家の床下まで浸水したこともあります。ボート池下流には田んぼがありました。今は、都営住宅になっているあたりです。台風が来て大雨が降ると、田んぼは水没し、一週間位遊水地の様になっていました。ここには、人は住んでいませんでした。



後で、井の頭池も三宝寺池も標高50mほどで、ほぼ同じ高さから水が湧いているということを知りました。

清瀬市と東久留米市の間に三角に入り込んだ新座市新堀という所があります。結婚してから、ここに2年ほど住みました。道を渡ると野火止用水でした。近くに落合川の南沢湧水があったので、子供を連れて行き、そこで遊ばせていました。

その後、東村山に引っ越し、久米川駅近くのマンションに住みました。河川改修が始まったのもこの頃です。近くに空堀川が流れていて、当時は東京でも水質がワースト1でした。徐々に流域下水道が整備され、空堀川の水質は良くなりましたが、段々と水量が減り夏には水が無いようになりました。瀬切れです。近頃は西武新宿線の下流は、夏だけでなく、雨が降らないとほとんど水がない状態です。なんとかしないといけないと思い、この会に入りました。



私が子供の頃にしたように子どもたちが空堀川で楽しく遊べ、愛される空堀川になるようにしたいと願っています。

### 初の試み「第三なかよし広場の分別処理活動」を実施

・ ささやかながら「循環型社会」をめざして 岡田一郎

年に2回開催の「空堀川クリーンアップ」も今春4月の活動で34回を迎え、回を重ねる毎に定着した活動として一般市民からも漸次認知されかつ参加者も漸増しつつあります。

しかし次の開催日(11月)までには約7ヶ月の期間があり、この間に「第三なかよし広場」周辺およびユリの木広場の倉庫周辺には多種多量のポリ袋入りゴミ類や飲料用缶、ペットボトルそして粗大ゴミ等が捨てられています。大方は友保理事長の手に依り拾われ第三なかよし広場と倉庫裏に集積されて、秋のクリーンアップ時に当日集荷のゴミと併せて分別、処理されるのが通例でした。しかし、これらの集積ゴミが「捨てる誘い水」になっていることも考えられることから、夏季中の早期にこれらの集積ゴミ類を分別、処理するという初の試み「第三なかよし広場の分別処理活動」を岡田の発声で7月26日(土)9時から13時まで行いました。

友保理事長、垂水さん、平田さん、そして岡田が参加しました。

春のクリーンアップ（4月26日）から丁度3ヶ月経ちましたが、その後「第三なかよし広場」周辺およびユリの木広場の倉庫周辺に捨てられ集積された「ゴミ山」を改めて4人で、①可燃ごみ。②不燃ごみ、③容器プラスチックに、そしてリサイクル向けの④発砲スチロール・トレーと⑤ビン類、⑥空き缶は全て水洗いして処理、⑦段ボールしました。

① 可燃ごみは市の指定袋で9袋、②不燃ごみは同じく8袋、③は2袋、そしてリサイクル向け④トレーは大型袋で1袋、⑤ビン類は大袋1/3袋、⑥空き缶は大袋で1袋、⑦段ボールは1括りでした。ビン類が少ないのが特徴的でした。植木鉢とプラスチック大型容器は「リユース」することにしました。なお、これらの分別成果物は①、②、③は美住町の町内回収日に岡田が対応し、④、⑤、⑥のリサイクル物は岡田が自宅エリア回収日に対応することにしました。

汗した作業終了後には友保理事長から冷たいビールが振る舞われましたが、格別の美味しいビールでした。翌27日（日）から毎朝出勤前に1週間「第三なかよし広場」に出向きましたが、周辺には全く新たなポリ袋入りゴミ類は発見されませんでした。

真夏日の作業にご協力いただきました方々に感謝し、心からご慰労申し上げます。なお写真は平田様撮影です。



### 新入会の感想

小久保和俊

がたろう会員の皆様初めまして、小久保和俊と言います。幼少期は市内の萩山町で育ち市内各所で遊び、毎日泥だらけになったりしていた事が懐かしく思い出されます。そんな自然の中で遊んだ場所でしたが、当時の空堀川の記憶は清流と呼べるような状態ではなかったと記憶しています。そんなおり恩多町に引越してきて数十年、自治会活動にも参加しだし当地区に隣接する空堀川の清掃活動を実施している団体があることに気がきました。そこで、幼少期の頃遊び学ばして貰ったことへの恩返しや、後世に残す為に必要な自然環境を整えておかなければならないと考え当会に入会しました。会員の皆様方と楽しく活動し、周辺自治体向けに広報活動が活発になればいいなと思っています。

これまでの経過と今後の予定  
(2014/07/12~2014/12/31)

- ◎7/12 第2回「いい川づくりといい街づくり意見交換会  
第191回定例会および反省会  
がたろう通信第78号発行
- ◎7/26 第三仲よし広場にてゴミの分別
- ◎8/5 流域連絡会
- ◎8/19 下堀・ふれあい広苑芝生手入れ
- ◎8/23 ふれあい広苑草集め
- ◎8/29 下堀広苑草集め
- ◎9/10 都市整備委員会
- ◎9/13 第192回定例会
- ◎9/17 流域連絡会
- 10/8 流域連絡会 御成橋ワンド補修
- 10/11 第193回定例会  
がたろう通信第79号発行
- 10/18 土曜子ども講座
- 10/20 都市整備委員会
- 10 清瀬・東大和工事意見交換会
- 10/27~下堀・ふれあい広苑定例作業
- 11 流域連絡会
- 11/8 第194回定例会
- 11/15 第35回空堀川クリーンアップ
- 12 流域連絡会
- 12/13 第195回定例会
- 12 忘年会



ひがっしーに投票  
してエー

## 会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円、

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円、

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

.....

編集後記 今回号は少しばかりハードな表紙面になりました。空堀川の一面をご覧頂き、川とは何なのかを皆様にもお考え頂きたいとの思いを込めさせて頂きました。右隣のカットは、ご存じの「ひがっしー」と「ポンタ君」です。ポンタ君は東村山市社会福祉協議会のイメージキャラクターです。

がたろう通信

第 80 号

2015年1月10日

発行

# からぼり川

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 冬鳥は空堀川を見捨てた！！ 友保邦弘



2年前の「空堀川・川まつり」風景です。十分ではありませんが水が流れています。もう少し水量が欲しいところですが・・・



二日前の雨でかろうじて小さな水溜り。普段はカラカラです。こんな状況では今年の川まつりの開催が危ぶまれます。

とうとう空堀川に水が無くなった。冬鳥のオナガガモ、コガモは1羽も来なかった。鶉もあきらめた。空堀川は文字通り「空の堀」に成り下がってしまった。

東大和の現河川を残してください・水漏れを防ぐ粘土貼りをしてください・源流から柳瀬川合流点まで水が途切れないようにお願いします・・・河川工事所管の北多摩北部建設事務所に署名を提出しました。東京都知事にも1月中に提出します。

東村山市議会も当会が提出した陳情を全員一致で採択し、東京都知事に「水量確保の意見書」を発出してくれました。

今年は正念場です。水量確保は「柳瀬川・空堀川流域連絡会」の主要テーマにもなっています。市民の皆様も是非「空堀川に清流を取り戻す」活動に手を貸してください。(詳しくは <http://karabori.exblog.jp/>)

数年前の空堀川 (水はあった)



昨年の落合川 (いつも豊かな水)



## 現在のからぼり広場 (水はカラカラ)



黒目川 (投網でアユを捕獲)



(4)

## 空堀川の東大和地区の工事に対する署名を提出しました！

平田 健

当会は、7月から「空堀川を考える会(東大和市)」「川づくり・清瀬の会」と共同で、「東大和市の空堀川の自然を守って下さい」という空堀川の東大和市内(東芝中橋～下堀橋)の工事に対して要望する署名を集めていました。その署名を、東京都建設局北多摩北部建設事務所長あてに 12月18日 に提出しました。署名は、1,051筆となり、提出した北多摩北部建設事務所の第二課長さんも「沢山署名を集められたのですね。」とおっしゃっていました。



署名して下さった多くの皆さん・署名集めをして下さった皆さん、ありがとうございました。署名の趣旨は、当会のブログに掲載しています。

<http://karabori.exblog.jp/>

なお、都知事あての署名は、1,089筆(片方にしか署名されていない方がいらっしゃるので、北多摩北部建設事務所長あてと異なっています)となり、平成27年1月19日に東京都建設局河川部に提出する予定です。

この署名により、東大和地区の工事が、いままで以上に環境に配慮し、常時水が流れ、生物が住みやすい川になることに期待します。

## 恒例のクリーンアップ第35回を開催

岡田一郎

35回クリーンアップ(第一会場)は11月15日(土)9時からぼり広場に31名が参加して行われました。朝7時のニュースでは雪景色の札幌市が紹介され、11月前半の降雪量としては19年振りの記録を報じていました。当地も冬型の気圧配置のためか晴天とはいえ寒い朝を迎えました。受付の設置や幟旗の掲揚準備のために8時過ぎには新会員の小久保、次いで内堀、平田、神山の各会員がからぼり広場に集合しました。今回も参加者一番乗りは昨年同様の本町居住の男性市民で、女幼児二人を伴った若いお母さんも初参加しました。参加者計31名のうち市民は12名、森永乳業関係者14名、会員5名でした。

定刻9時に岡田が開会の挨拶を行い、当日の活動要領と11時には収集したごみを美住町公園入り口前で7種類の分別作業を行うことの協力を要請し、また軽食時に行う水流確保のための署名活動をも紹介しました。

上流エリアは会員の内堀、平田の両氏を主導に、下流は神山さん主導で参加者を2組に分けて、また岡田とのリヤカーによる各拠点の集積物や粗大ごみの搬送係には森永乳業社の若手2名に就いていただきました。今回は兩岸の植え込みのゴミ拾いも注目しました。

予定通りに11時には参加者全員がそれぞれの収集ゴミを公園入り口前に持ちより、徹底した分別作業を行いました。一時は業者「空園」が処理する集合ゴミをリヤカー一杯に搬送する場面がありましたが、丁度集荷にきた空園の清掃トラックに引き取りを要請した経緯もありました。この「空園」の活動と同時に行われましたので収集量はいつもの半分以下でした。

7つに分別された収集袋を背景に無事に作業を終了した達成感と安堵感に満ちた参加者の記念撮影を行った後に、名物のすいとん入り豚汁が用意された美住町集会所に向いました。平田理事を中心に水量確保の署名をお願いして回り、お腹を満たした参加者の皆様は1時過ぎに散会しました。今回の分別したゴミの量は以下の通りです。

- |          |       |             |    |
|----------|-------|-------------|----|
| ① 燃えるゴミ  | 11袋   | ② 燃えないゴミ    | 6袋 |
| ③ ビン     | 1袋    | ④ 缶         | 2袋 |
| ⑤ ペットボトル | 2袋    | ⑥ 粗大ごみ(自転車) | 2台 |
| ⑦ 処理困難物  | 掃除機1台 |             |    |

2トン積載量の市役所回収車の荷台が8分目になる量で、いつもの1/3の

収集量で、市役所の担当者一同も激減した量に驚嘆しておりました。なお、第二会場の実施結果は友保理事長の報告からの抜粋したものを記しました。

第二会場 範囲：大沼田橋～土橋

参加者：一般市民6名、森永乳業関係16名、会員9名 合計 31名

収集ゴミ量：

- |          |     |             |     |
|----------|-----|-------------|-----|
| ① 燃えるゴミ  | 33袋 | ② 燃えないゴミ    | 8袋  |
| ③ ビン     | 2袋  | ④ 缶         | 2袋  |
| ⑤ ペットボトル | 2袋  | ⑥ 粗大ごみ(自転車) | 11台 |
| ⑦ 処理困難物  | なし  |             |     |

両会場ともに市の指定業者による草刈り作業が月初に行われた後であり、今回の収集量が極少であったようです。しかし、原因は不明ですが自転車が11台も捨てられていたのは過去に例がありません。北北建と警察の判断で適正に処分して頂きました。

## 年末の空堀川追加クリーンアップ

垂水荘司

年末の空堀川追加クリーンアップ 垂水荘司 12月10日よく晴れた日、空堀川にも間もなく冬の兆しを感じられそうな状況でした。11月15日秋のクリーンアップで清掃できなかった区間、天王橋からふれあい橋の間をきれいになりたいと有志数名が参加し実施されました。11月15日のクリーンアップでは、例年よりはゴミの量は少なめに感じましたが甘かったです。空堀川は水が空の状態、川の中のゴミも残すことなく拾い上げることが出来ました。しかしゴミは日々、確実にすてられています。クリーンアップの数日後散歩時にゴミのない川を想像して歩いてみると、収集したばかりの川にゴミが散乱していました。非常に残念でもあり、悲しく感じましたね。これが人間の仕業なのか、と思う反面この現実を受け止めるには人間には「鈍感力」が必要なんだと感じました。しかし、今回12月10日の追加クリーンアップでは貴重な体験をさせて頂きました。クリーンアップの前日、日課にしている早朝散歩時に、一生懸命遊歩道のゴミ拾いをされている方に出会いました。通常は2人の女性がゴミ拾いをしている場面に出会うことはよくありますが、男性1人での行為に思わず「ご苦労さま」と声をかけ、重そうな袋のゴミを見て、「明日川の清掃をしますから川の中に捨てておいてください、一緒に処理しますので」と云いましたら、私も川の清掃に参加させてほしいと申し出がありました。お互い見も知らずの人と意気投合して12月10日のクリーンアップに参加して

下さることになりました。世の人々は大げさになりますが、なにかの機会があれば自分も 参加して躊躇することなく動けるうちは動いてみたい、と思っている人は結構いるのではないかと勝手にその様に思うことがあります。特にサラリーマン生活を送ってきた人々には、自分の意志で行動できた人はどの位いたのでしょうか。その反動かどうか定かではないけれども退職後の生活は自分の意志が明確に発揮されます。なに事も自分が動かなければ前に進みません、YES、NOの発信は自分の責任が全てです。結構人々のお役に立ちたい、それが自分の 生き甲斐になることも一因ですが、ボランティア活動はその様なものなのかも知れません。12月10日の当日は、7リッター入りの大きなゴミ袋10袋に瞬く間に収集され、7種類のゴミに分別作業を終えたのは2時間半後でした。新しい年を迎えるに当たり、自然環境整備の一端を自分たちの手でなし得た達成感は格別なものです。一か月前に行った空堀川のクリーンアップ区間も、残念ながら年内に再度有志の力できれいな川を確保しなければならぬのが現実です。しかしその現実をわきまえて実行に移す気持をなくさないように肝に銘じておきます。新しい年をクリーンな気分で迎えたいものです。



クリーンアップの時、川底は園児の散歩道となっていました。

## これまでの経過と今後の予定

(2014/07/12～2014/12/31)

- ◎10/8 流域連絡会 御成橋ワンドの整備
- ◎10/11 第193回定例会  
がたろう通信第79号発行
- ◎10/18 土曜子ども講座 竿作り・魚釣り体験
- ◎10/26 東村山市制50周年記念式典
- ◎10/27～30 下堀・ふれあい広苑芝生手入れ
- ◎11/8 第194回定例会  
26年度第2回理事会
- ◎11/14 8/15の「空堀川の水量確保に関する陳情」が採択された場合に「東京都に意見書の提出を求める陳情」を提出
- ◎11/15 第35回空堀川クリーンアップ
- ◎11/19 流域連絡会
- ◎12/10 流域連絡会
- ◎12/13 第195回定例会
- ◎12/18 26陳情第33号(8/15)及び26陳情第50号(11/14)の2件が本会議にて採択された。  
北々建に署名1051筆を提出  
市議会議長より都知事宛「空堀川の水量確保に関する意見書」を郵送
- ◎12/19 忘年会(カノノイワ東村山)
- ◎12/28 久米川町自治会、社協、消防団などと協働で野行橋の周辺川や管理道路を清掃
- 1/10 第196回定例会  
がたろう通信第80号発行
- 1/19 東京都 建設局河川部へ署名を提出
- 1/ 流域連絡会
- 2/14 第197回定例会
- 2/ 流域連絡会

- 2/ 植栽イベント
- 3/14 第198回定例会
- 3/ 流域連絡会
- 4/11 第199回定例会
- 4/18 第36回空堀川クリーンアップ  
(日時を確認してから参加下さい)
- 4/ 流域連絡会
- 5/9 第3回理事会  
第16回定期総会  
第200回定例会

会 員 募 集
---------

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000円,  
年会費 2000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000円  
年会費 一口 10000円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000円,  
団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978